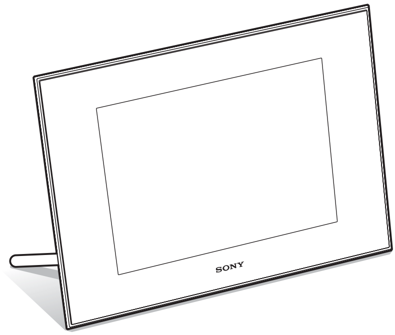
SONY

4-129-218-**04** (1)

デジタルフォト フレーム

DPF-X800/X1000



取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

MEMORY STICK ™　HDMI　BRAVIA プレミアム・フォト

S-Frame

⚠警告　安全のために

➡79～82ページもあわせてお読みください。

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。
しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

79 ～ 82 ページの注意事項をよくお読みください。

⬇

定期的に点検する

1 年に 1 度は、電源コードに傷みがないか、プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

⬇

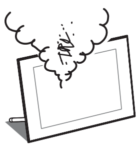
故障したら使わない

動作がおかしくなったり、本体またはリモコンが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理をご依頼ください。

⬇

万一異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



➡

1. **電源を切る**
2. **電源プラグをコンセントから抜く**
3. **お買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。
表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



行為を指示する記号



電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

ACアダプターは容易に手が届くようなコンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。

各種CD、TV映像、画像等著作権の対象となっている著作物、その他あなたが撮影、制作した映像以外のものを複製、編集、印刷することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物、編集物、印刷物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権等を有しているか、あるいは複製等について著作権者等から許諾を受けている等の事情が無いにもかかわらず、この範囲を超えて複製、編集、印刷や、複製物、編集物、印刷物を使用した場合には、著作権等を侵害することとなり、著作権者等から損害賠償等を請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。また、本機においての写真の画像データを利用する場合は、上記著作権侵害にあたる利用方法は厳重にお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変等すると肖像権を侵害することになりますので、そのような利用方法も厳重にお控えください。なお、実演、興行、展示物の中には撮影を限定している場合がありますのでご注意ください。

記録内容の保証はできません
万一、本製品の不具合により、記録ができなかった場合、および記録内容が破損または消去された場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

バックアップのおすすめ
万一の誤消去や破損にそなえ、必ず予備のデータコピーをおとりください。

ご注意

- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 液晶画面を太陽に向けたままにしないでください。故障の原因となります。
- 液晶画面は有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません
- 寒い場所で使うと、画面が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。

商標について

- S-Frame、BRAVIA、“BRAVIAプレミアムフォト”、Cyber-shot、MEMORY STICK、“Memory Stick”、“メモリースティック”、MEMORY STICK、“Memory Stick Duo”、“メモリースティック Duo”、“メモリースティック デュオ”、MEMORY STICK DUO、“MagicGate Memory Stick”、“マジックゲートメモリースティック”、“Memory Stick PRO”、“メモリースティック PRO”、MEMORY STICK PRO、“Memory Stick PRO Duo”、“メモリースティック PRO Duo”、“メモリースティック PRO デュオ”、MEMORY STICK PRO DUO、“Memory Stick PRO-HG Duo”、“メモリースティック PRO-HG Duo”、MEMORY STICK PRO-HG DUO、“Memory Stick Micro”、“メモリースティック マイクロ”、MEMORY STICK MICRO、M2、“Memory Stick-ROM”、“メモリースティック - ROM”、MEMORY STICK-ROM、“MagicGate”、“マジックゲート”、MAGICGATE は、ソニー株式会社の商標または登録商標です。
- HDMI、HDMI、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh、Mac OS は、米国およびその他の国における Apple Inc. の登録商標です。
- コンパクトフラッシュ（CompactFlash）は、米国サンディスク社の商標です。
- xD-Picture Card、xD-Picture Card™ は、富士フイルム（株）の商標です。
- Bluetooth ワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc. の所有であり、ソニー株式会社はライセンスに基づきこのマークを使用しています。
- Red FotoNation は、米国 FotoNation Inc. の商標です。
- SILKYPIX® は、（株）市川ソフトラボラトリー社の商標です。
- Monotype Imaging Inc. の iType™ を搭載しています。iType™ は、Monotype Imaging Inc. の商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では ™、® マークは明記していません。
- 本機の顔検出機能は、ソニー株式会社が開発した顔画像認識技術により実現しています。

目次

はじめに

使ってみよう（基本編）

いろいろな機能を使ってみよう（応用編）

外部機器を使う（Bluetooth 編）

外部機器を使う（コンピューター編）

エラーメッセージ一覧

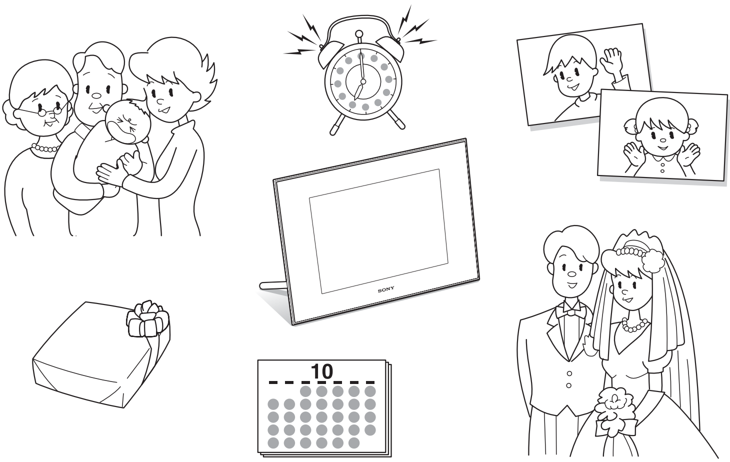
困ったときは

その他

本書のイラスト、画面表示について
特に説明が必要な所を除き、
DPF-X1000 を使用しています。
また、本書で使われているイラストや
画面は、実際のものと異なる場合があ
ります。

楽しみかたいろいろ、フォトフレーム

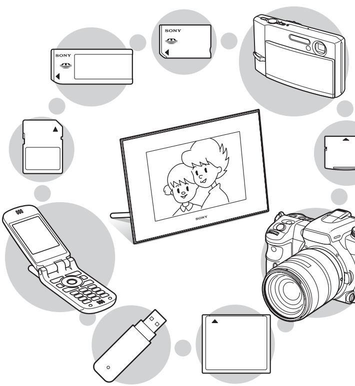
ソニーデジタルフォトフレーム DPF-X800/X1000 は、デジタルカメラなどで撮影した画像を、コンピューターを使用せずに簡単にディスプレイに表示できるデジタルフォトフレームです。



次のページにつづく

特長

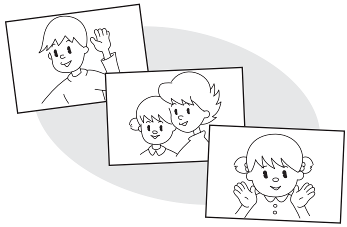
- **様々なメモリーカードに対応***
  “ メモリースティック ”、コンパクトフラッシュカード、SD メモリーカード、xD-Picture Card、USB メモリーなど様々なメモリーカードや外部機器に対応しています。デジタルカメラなどから抜いたメモリーカードをそのまま差し込むだけで、すぐに画像の表示ができます。
  （→20 ページ、60 ページ）



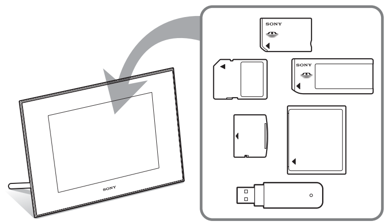
- **様々な表示機能**
  スライドショー、時計・カレンダー、一枚表示、インデックスを色々なスタイルで表示できます。（→21 ページ）



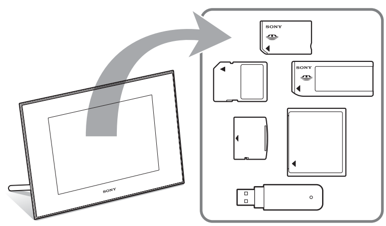
- **多彩なスライドショー**
  まるでアルバムをめくるように、自動的に画像を切り換えて表示します。時計やカレンダーをモチーフとしたスライドショーを含め、複数のスタイルから選べます。また、再生順など、再生条件の設定ができます。（→29 ページ）



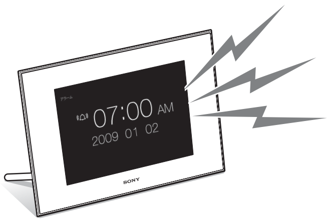
- **画像をアルバムに追加**
  アルバムに追加した画像は、内蔵メモリーに保存されます。（→32 ページ）



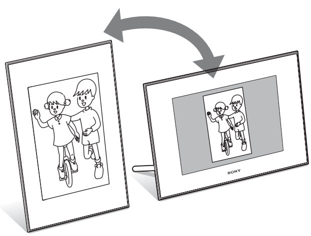
- **画像の書き出し**
  画像の書き出し機能により、アルバム内の画像をメモリーカードに書き出せます。（→34 ページ）



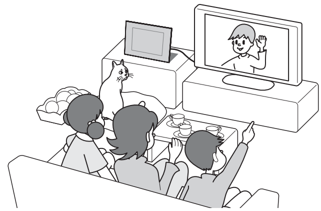
- **クリエイティブエディット機能**
  スクラップブック、カレンダー、分割写真、フレーム、手書き合成ができます。（→43 ページ）
- **検索機能の搭載**
  イベント、フォルダー、画像の向き、マークからお好みの画像を検索できます。（→39 ページ）
- **くっきり補正機能**
  逆光、自動覆い焼き、ピンボケ、赤目、美肌、ホワイトバランス補正によって、画像を自動的に補正し、美しく表示します。（→40 ページ）
- **アラーム機能搭載**
  指定した時刻に音と画面でお知らせします。（→52 ページ）



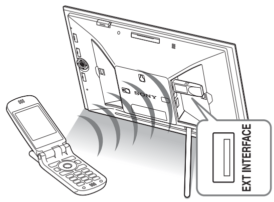
- **縦置き、横置き自由自在**
  傾斜センサーにより、フレームの置きかた（縦置き、横置き）に連動して、表示される画像が自動的に回転します。（→15 ページ）



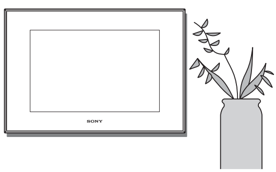
- **ハイビジョンテレビに接続し、音楽に合わせて大画面で画像を表示**
  本機は、HDMI 出力端子を装備しており、ハイビジョンテレビにつなぎ、メモリーカード、外部機器、内蔵メモリーの画像を音楽に合わせて、大画面でお楽しみいただけます。（→58 ページ）



- **Bluetooth 対応の携帯電話などで撮った画像を簡単転送＊**
  Bluetooth アダプター（別売）を使用して、Bluetooth 対応機器からの画像を内蔵メモリーに転送し、表示できます。（→62 ページ）



- **明るさ自動センサー**
  室内の明るさに連動して、本機の照度を自動で調整します。（→56 ページ）
- **壁掛け対応**
  本機を壁掛けにしてお楽しみいただけます。（→16 ページ）



＊ すべての機器との動作を保証するものではありません。

同梱品を確認する

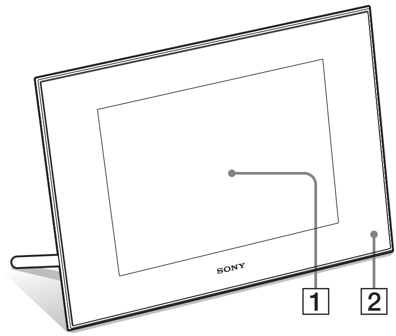
梱包箱から取り出したら、次の同梱品がそろっているか確認してください。

- デジタルフォトフレーム（1 台）
- スタンド（1 本）
- カードスロットカバー（1 個）
- コネクターカバー（1 個）
- リモコン（1 個）
- AC アダプター（1 個）
- 電源コード（1 本）
- 取扱説明書（本書）（1 部）
- はじめにお読みください（1 部）
- 保証書（1 部）
- カスタマー登録のご案内（1 部）

各部の名前

詳しい説明は、（　）内のページをご覧ください。
イラストは DPF-X1000 です。外形、液晶画面の大きさはモデルごとに違いますが、ボタン、端子の位置、名称は DPF-X1000 と同じです。

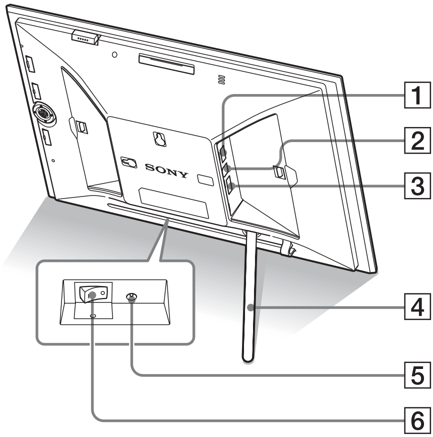
本体前面

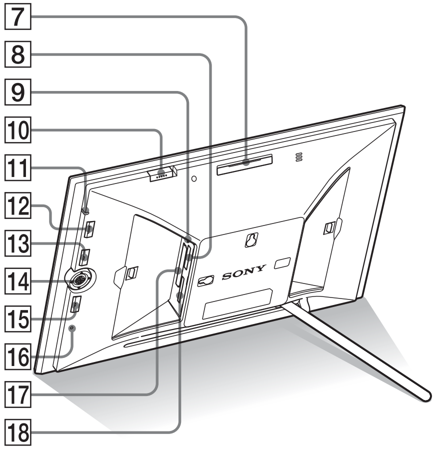


1 **液晶画面**

2 **リモコン受光部**
付属のリモコンを受光部に向けて、操作します。

本体背面





1 **EXT INTERFACE 端子（62 ページ）**
Bluetooth 対応の携帯電話やデジタルカメラから無線で画像を転送するときに、Bluetooth アダプター（別売　型名：DPPA-BT1）を接続する端子です。
USB マスストレージ対応のデジタルカメラ、USB メモリー、フォトストレージを接続するときも使用します。

2 **USB B 端子（64 ページ）**
本機をコンピューターにつないでお使いになるときに、USB ケーブルを差し込む端子です。

3 **HDMI OUT 端子（58 ページ）**
本機をハイビジョンテレビにつないでお使いになるときに、HDMI ケーブルを差し込む端子です。

4 **スタンド（15 ページ）**

5 **DC IN 8.4V 端子（17 ページ）**
付属の AC アダプターのプラグを差し込み、電源コードで AC アダプターと家庭用電源を接続します。

6 **主電源スイッチ（18 ページ）**

7 **ビューモード（表示モード）ボタン（21 ページ）**

8 **"メモリースティック PRO"（スタンダード／デュオ）スロット（20 ページ）**

9 **アクセスランプ**

10 **アラームスイッチ（52 ページ）**

11 **STANDBY ランプ**

12 **（電源）ボタン**

13 **メニューボタン**
メニューを表示します。
［スライドショー設定］、［回転］、［アルバムに追加］、［時計設定］などの機能を本体から実行できます。

14 **十字（←/→/↓/↑）ボタン、-✦-ボタン**
←/→/↓/↑ ボタンで項目を選び、-✦-ボタンで決定します。

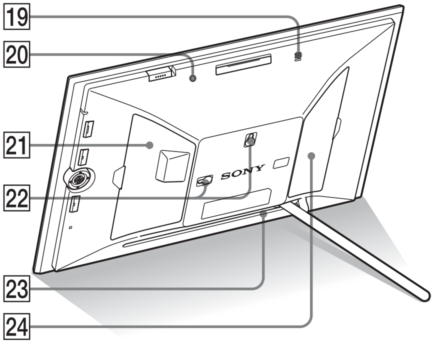
15 **戻るボタン**
前の表示に戻ります。

16 **リセットスイッチ（71 ページ）**
時計設定、アラーム設定、自動電源 ON/OFF 設定が工場出荷時の設定に戻ります。先端の細い物で押してください。

17 **コンパクトフラッシュカードスロット（20 ページ）**

18 **SD メモリーカード／ MMC ／ xD-Picture Card スロット（20 ページ）**

次のページにつづく



19 ブザー

20 照度センサー

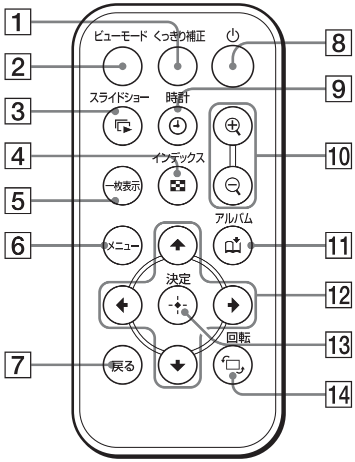
21 カードスロットカバー

22 壁掛け用のネジ穴（→16 ページ）

23 スタンド収納場所

24 コネクターカバー

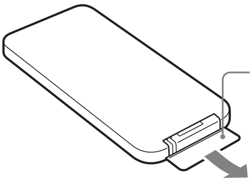
リモコン



1 くっきり補正ボタン(➡40 ページ)
2 ビューモード(表示モード)ボタン (➡21 ページ)
3 スライドショー( )ボタン (➡21 ページ)
4 インデックス( )ボタン (➡21 ページ)
5 一枚表示(一枚表示)ボタン (➡21 ページ)
6 メニューボタン
7 戻るボタン
8 ⏻(電源)ボタン
9 時計( )ボタン(➡21 ページ)
10 拡大( )／縮小( )ボタン (➡42 ページ)
11 アルバム( )ボタン(➡32 ページ)
12 方向(←/→/↓/↑)ボタン
13 (決定)ボタン
14 回転( )ボタン(➡42 ページ)

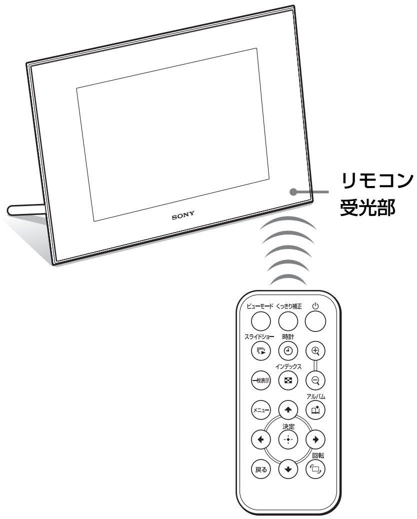
リモコンを準備する

付属のリチウム電池（CR2025）があらかじめリモコンの中に入っています。図のように保護シートを引き抜いてから使用してください。



リモコンを使うときは

リモコンの先端を、本体のリモコン受光部に向けて操作してください。



ご注意

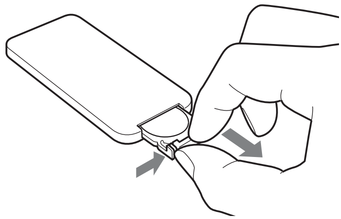
壁にかけてご使用の際、本体上のボタンで操作すると落下の恐れがあります。必ずリモコンで操作をおこなってください。

リモコンの電池を交換するときは

リモコンが動作しなくなったら、新しい電池（CR2025 リチウム電池）に交換してください。

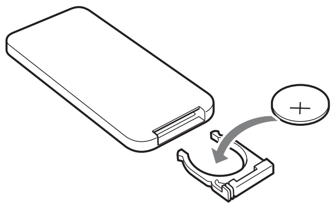
1 **電池ホルダーを引き出す。**

電池ホルダーのタブを内側に押さえながら、電池ホルダーを引き出します。



2 **古い電池を電池ホルダーから取り出し、新しい電池を入れる。**

電池の＋が上になるように入れてください。



3 **電池ホルダーを元どおりリモコンに挿入する。**

ご注意

- 指定以外の電池を使うと、破裂のおそれがあります。
- 使用済みの電池は、自治体の定めた方法で処分してください。
- 高温多湿の場所にリモコンを放置しないでください。
- 電池の交換時などに、リモコン内部に異物が入らないようにしてください。

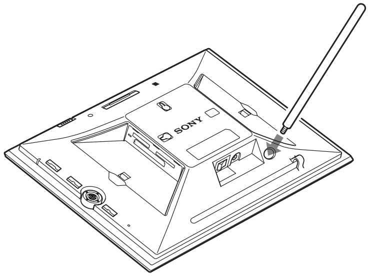
- 電池は正しく使わないと、液漏れや腐敗のおそれがあります。
  – 充電はしないでください。
  – リモコンを長期間使用しないときは、液漏れや腐敗を防ぐため、電池をリモコンから抜いてください。
  – 間違った入れ方をしたり、ショートさせたり、分解、加熱、火中に投入したりすると、破裂や液漏れのおそれがあります。

本書での説明について

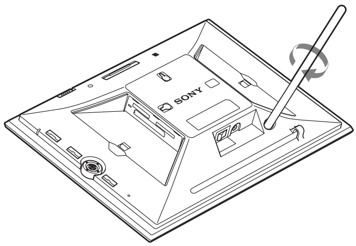
取扱説明書内の操作は、リモコン操作を基本に説明をしています。リモコンと本体ボタンで操作が異なる場合は「ちょっと一言」で説明をしています。

スタンドをセットする

1 本機を固定し、背面のネジ穴に対してまっすぐにスタンドを差し込む。



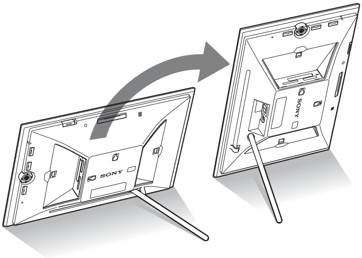
2 スタンドが回らなくなるまでネジ穴にしっかりとねじ込む。



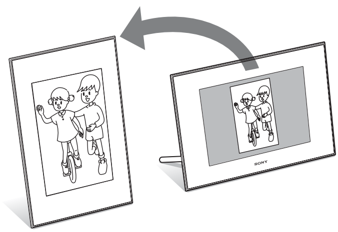
次のページにつづく

縦または横にする

本機は、スタンド部を動かさずに、本体を回転させることにより、縦横どちらでもセットすることができます。



縦にして、操作ボタンが上にくるようにすると、画像も自動的に縦に表示されます。また、本体背面の十字ボタンの操作方向も本体の向きに連動します。



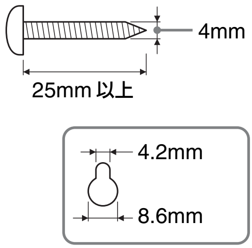
ご注意

- スタンドが安定しているかどうかご確認ください。中途半端な状態で立てると、倒れる場合があります。
- 縦置き時には、Sony ロゴは点灯しません。
- （設定）タブの［本体設定］の［自動縦横判別］が［OFF］に設定されていると縦横の自動切り換えを実行しません。
- スタンド収納部分に磁石が入っています。キャッシュカードやクレジットカードなど、磁気に影響の受けるものを近くに保管しないでください。TV のブラウン管のそばに置くとTV の画面の色が変わることがあります。
- スタンドを取りはずすときに滑ってまわしにくい場合は、輪ゴムなどを巻くとスタンドを回しやすくなります。

壁にかけて使用するには

下記の手順で本機を壁に取り付けることができます。

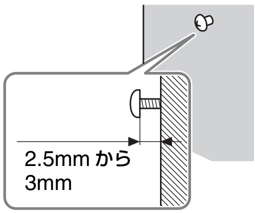
1 本機背面のネジ穴に合う市販のネジを用意する。



本機背面のネジ穴

2 壁に市販のネジをとめる。

ネジが壁から 2.5mm から 3mm、突き出した状態で壁に固定します。



3 本機背面のネジ穴とネジの位置を合わせてから取り付ける。

ご注意

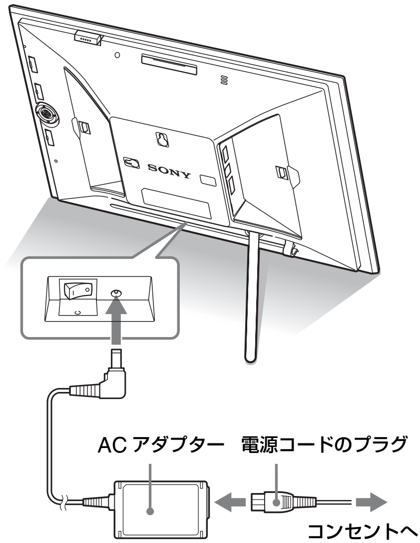
- 壁の材質や強度に合ったネジを使用してください。壁の材質によっては破損する恐れがあります。ネジは柱部分にしっかりと固定してください。
- メモリーカードを差し換えるときは本機をいったん壁から取り外し、安定した場所でおこなってください。

- 本機を壁にかけてご使用する際は、スタンドを本体背面に収納してください。
- 電源コードを本機に接続し主電源を入れてから壁にかけ、その後に電源コードをコンセントにつないでください。
- 取り付けの不備、強度不足、誤使用、天災などによる事故、損傷につきましては、当社は一切の責任を負いかねます。

電源をつなぐ

1 AC アダプターのプラグを本機背面の DC IN 8.4V 端子につなぐ。

2 電源コードのプラグを AC アダプターとコンセントに差込む。



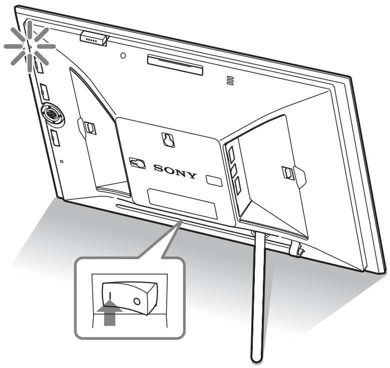
ご注意

- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定なところに置かないでください。
- AC アダプターは、お手近なコンセントを使用してください。使用中、不具合が生じた時は、すぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- AC アダプターのプラグを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。
- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- 使い終わったら、AC アダプターを本機の DC IN 8.4V 端子から、電源コードをコンセントから取りはずしてください。

電源を入れる

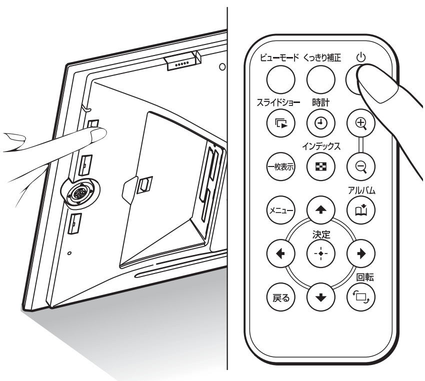
主電源が入っていない場合

本体背面の主電源スイッチをオンにすると本体の STANDBY ランプが緑になり、Sony ロゴが点灯します。



主電源が入っている場合

本体またはリモコンの ⏻（電源）ボタンを押します。本体の STANDBY ランプが赤から緑に変わり、本体前面の Sony ロゴが点灯します。



電源を切る

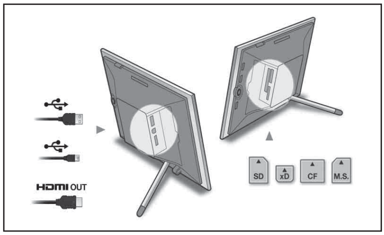
本体またはリモコンの ⏻（電源）ボタンを電源が切れるまで押し続けます。本体の STANDBY ランプが緑から赤に変わります。

ご注意

STANDBY ランプが赤に変わる前に、主電源を切ったり、AC アダプターをコンセントや DC IN 8.4V 端子から抜かないでください。故障の原因となることがあります。

初期画面について

メモリーカードや外部機器を接続しないで電源を入れると、下の初期画面が表示されます。



何も操作せずに 10 秒が経過すると、デモモードが表示されます。デモモードで電源以外のボタンを押すと、初期画面に戻ります。

まずはじめに、初期画面でメニューボタンを押して、メニュー画面から日時を設定してください。

現在時刻を設定する

時計・カレンダー表示モードで正確な時刻を表示するために、本機の時計合わせをしておく必要があります。

1 メニューボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。

2 ←/→ ボタンで（設定）タブを選ぶ。

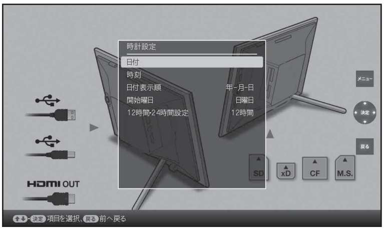
設定メニュー画面が表示されます。

ちょっと一言

メモリーカードが挿入されていたり、外部機器が接続されている場合、または時計・カレンダー表示（25 ページ）に設定されていない場合のみ ←/→ ボタンが有効となります。

3 ↓/↑ ボタンで［時計設定］を選び、⊕ ボタンを押す。

時計設定画面が表示されます。



4 日付を合わせる。

① ↓/↑ ボタンで［日付］を選び、⊕ ボタンを押す。

② ←/→ ボタンで年、月、日を選び、↓/↑ ボタンで数値を設定し、⊕ ボタンを押す。

5 時間を合わせる。

① ↓/↑ ボタンで［時刻］を選び、⊕ ボタンを押す。

② ←/→ ボタンで時、分、秒を選び、↓/↑ ボタンで数値を設定し、⊕ ボタンを押す。

6 日付の書式を選ぶ。

① ↓/↑ ボタンで［日付表示順］を選び、⊕ ボタンを押す。

② ↓/↑ ボタンで書式を選び、⊕ ボタンを押す。

- 年 - 月 - 日
- 月 - 日 - 年
- 日 - 月 - 年

7 カレンダーの開始曜日を設定する。

カレンダー表示時にカレンダーの左端の曜日を設定することができます。

① ↓/↑ ボタンで［開始曜日］を選び、⊕ ボタンを押す。

② ↓/↑ ボタンで［日曜日］または［月曜日］を選び、⊕ ボタンを押す。

8 時間表示を選ぶ。

① ↓/↑ ボタンで［12 時間・24 時間表示］を選び、⊕ ボタンを押す。

② ↓/↑ ボタンで時間表示を選び、⊕ ボタンを押す。

9 メニューボタンを押す。

メニュー画面が終了します。

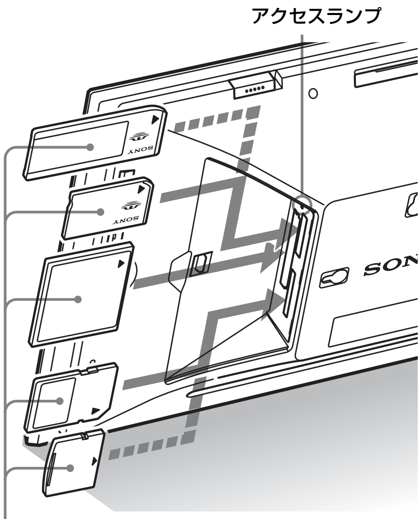
メモリーカードを入れる

本体背面から見て、メモリーカードの表面を手前にして、それぞれのスロットにしっかりと奥まで入れる。

メモリーカードが正しく挿入されると、アクセスランプが点滅します。アクセスランプが点滅しない場合は、挿入向きを確認し、再度メモリーカードを差し込んでください。

長時間メモリーカードを挿入する場合は付属のスロットカバーを装着してください。

本機で使用できるメモリーカードの詳細については、73 ～ 75 ページをご覧ください。



上から、"メモリースティック"("メモリースティック デュオ")、コンパクトフラッシュカード、SD メモリーカード、xD-Picture Card をそれぞれのスロットに入れます。

メモリーカードを取り出すには

本機のそれぞれのスロットから、メモリーカードを挿入した方向と逆の方向へ取り出します。

ご注意

- メモリーカードを挿入するとき、無理な力をくわえて挿入をすると、メモリーカードまたは本機を破損する恐れがあります。
- 本機には、"メモリースティック"スタンダード／デュオ対応スロットが搭載されていますので、"メモリースティック"アダプターは不要です。
- SD メモリーカード／ xD-Picture Card 兼用スロットは、自動的にカードタイプを検出します。
- メモリーカードご使用の際は、73 ページをご覧ください。

表示される画像の優先順位について

メモリーカードを挿入または外部機器を接続すると、挿入したメモリーカードまたは接続した外部機器の画像が自動的に表示されます。

表示するメモリーカードまたは外部機器を切り換えるには、▶(再生デバイス選択)メニューから指定します。(40 ページ)

表示される再生デバイスの優先順位は以下のとおりです。

- **メモリーカード／EXT INTERFACE 端子に接続された機器 → 内蔵メモリー**
- **電源を入れた状態で複数のメモリーカードを挿入した場合**
  先に挿入したメモリーカードが優先して表示されます。
- **電源を切った状態で複数のデバイスを挿入し、電源を入れた場合**
  電源を切る前に表示していたデバイスが最も優先して表示されます。ただし、EXT INTERFACE 端子に接続された機器に関しては優先されない場合があります。
  電源を切った状態でメモリーカードを入れ換えた場合は、以下の優先順位で表示されます。
  “ メモリースティック ” ➔ コンパクトフラッシュカード ➔ SD メモリーカード ➔ xD-Picture Card ➔
  EXT INTERFACE 機器 ➔ 内蔵メモリー
- **何も挿入・接続されていない場合**
  内蔵メモリーのアルバムに保存されている画像が表示されます。

ご注意

- 内蔵メモリーに記録した画像は、内蔵メモリーのデバイスの特性上、時間の経過や、読み出し回数の多さが原因でデータ化けなどのエラーが発生することがあります。
- 表示可能なファイルフォーマットに関しては、76 ページをご覧ください。

画面表示を切り換える

1 ビューモードボタンを押す。

ビューモード画面が表示されます。



2 お好みのグループを選ぶ。

グループ	説明
スライドショー	スライドショーのスタイルを表示します。
時計・カレンダー	時計・カレンダーのスタイルを表示します。
一枚表示	一枚表示のスタイルを表示します。
インデックス表示	サムネイルのスタイルを表示します。

ちょっと一言

本体から操作する場合は、カーソルを ←/→/↓/↑ ボタンでグループエリアへ移動させてから、←/→ ボタンでグループを選択してください。

次のページにつづく



3 ←/→/↓/↑ ボタン、またはビューモードボタンでお好みのスタイルを選び、(決定) ボタンを押す。

ご注意

一定時間操作が行われないと、カーソル上のスタイルが自動で決定されます。

スライドショー表示

グループ	画像	スタイル	説明
スライドショー	A	シングル表示	1つの画面を次々と表示するスタイルです。
	B	マルチ表示	複数画像を用いて表示するスタイルです。
	C	時計表示	表示された画像と現在の日時が表示されるスタイルです。
	D	カレンダー表示	カレンダーを表示しながら、画像を次々に表示するスタイルです。現在の日時も表示されます。
	E	タイムマシン	表示された画像とあわせて、撮影日時情報を表示するスタイルです。現在の日時は表示されません。
	F	スクラップブック	クリエイティブエディット内の雛形で加工された写真のように表示するスタイルです。
	G	クリエイティブ	
	H	ランダム表示	複数のスライドショーと複数のエフェクトをランダムに切り換えながら表示するスタイルです。

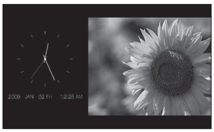
A



B



C



D



E



FG



H



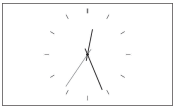
ちょっと一言

- メモリーカードを挿入せず、内蔵メモリーに画像が保存されていない場合は、自動的にデモモードが開始します。画像の入ったメモリーカードを挿入する、または電源以外のいずれかのボタンを押すと、デモモードは終了します。
- スライドショーの画像表示順については56ページをご覧ください。
- スライドショー選択時の切り換え間隔、エフェクト、再生順の指定、カラー効果、画像表示は「スライドショーの設定を変更する」（29ページ）で設定できます。
- スライドショー中、表示したい画像が現れたときに本体の-◆-ボタンを押すと、一枚表示画面になります。
- 本体のビューモードボタンからも操作できます。

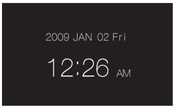
時計・カレンダー表示



時計 1



時計 2



時計 3



時計 4



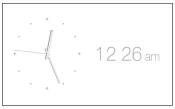
時計 5



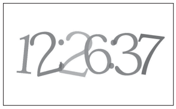
時計 6



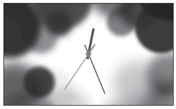
時計 7



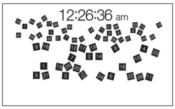
時計 8



時計 9



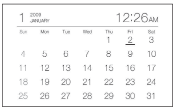
時計 10



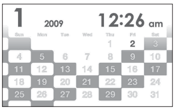
時計 11



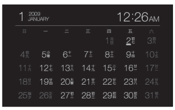
カレンダー1



カレンダー2



カレンダー3



陰暦
カレンダー
（中国語（簡体字）
設定時）



アラビア
カレンダー
（アラビア語設定時）



ペルシア
カレンダー
（ペルシア語設定時）

ご注意

時計・カレンダー表示中は、メニューの （設定）タブのみ操作できます。

ちょっと一言

本体のビューモードボタンからも操作できます。

一枚表示

グループ	画像	スタイル	説明
一枚表示	Ⓐ	標準	画像を切らずにそのまま表示します。←/→ ボタンで表示する画像を切り換えます。
	Ⓑ	全画面	画像を全画面に表示します。←/→ ボタンで表示する画像を切り換えます。
	Ⓒ	標準 （情報表示あり）	画像を切らずに表示した状態で画像番号、ファイル名、撮影年月日などの画像情報を表示します。 ←/→ ボタンで表示する画像を切り換えます。 表示される画像情報については、「情報表示について」（28 ページ）をご覧ください。
	Ⓓ	全画面 （情報表示あり）	画像を全画面に表示した状態で画像番号、ファイル名、撮影年月日などの画像情報を表示します。 ←/→ ボタンで表示する画像を切り換えます。 表示される画像情報については、「情報表示について」（28 ページ）をご覧ください。

Ⓐ



Ⓑ



Ⓒ



Ⓓ



ちょっと一言

- メモリーカードを挿入せず、内蔵メモリーに画像が保存されていない場合は、自動的にデモモードが開始します。画像の入ったメモリーカードを挿入する、または電源以外のいずれかのボタンを押すと、デモモードは終了します。
- パノラマ画像を一枚表示時に-◆-ボタンを押すと、パノラマ再生を始めます。
- 一枚表示画面で表示する画像の大きさを変更するにはビューモードボタンを押し、一枚表示 を選び、←/→ ボタンで標準スタイルと全画面スタイルの設定をします。画像によっては全画面スタイルで表示できないことがあります。
- 本体のビューモードボタンからも操作できます。

インデックス表示

グループ	画像	スタイル	説明
インデックス表示	Ⓐ	インデックス 1	大きいサムネイルの一覧が表示されます。 ←/→/↓/↑ ボタンでカーソルを動かし表示する画像を切り換えます。
	Ⓑ	インデックス 2	サムネイルの一覧が表示されます。 ←/→/↓/↑ ボタンでカーソルを動かし表示する画像を切り換えます。
	Ⓒ	インデックス 3	小さいサムネイルの一覧が表示されます。 ←/→/↓/↑ ボタンでカーソルを動かし表示する画像を切り換えます。

Ⓐ



Ⓑ



Ⓒ



ご注意

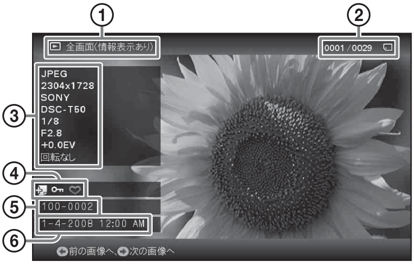
インデックス表示の場合、テレビ出力時は、画面サイズによって、画像数が変わります。

ちょっと一言

- サムネイルとは、デジタルカメラで撮影した画像ファイルに記録されている、見出し用の小さいサイズの画像のことです。
- メモリーカードを挿入せず、内蔵メモリーに画像が保存されていない場合は、自動的にデモモードが開始します。画像の入ったメモリーカードを挿入する、または電源以外のいずれかのボタンを押すと、デモモードは終了します。
- インデックス表示中、十字ボタンで画像を選び、本体の-✦-ボタンを押すと、一枚表示画面になります。
- 本体のビューモードボタンからも操作できます。

次のページにつづく

情報表示について



次の情報を表示します。

①表示タイプ

一枚表示

全画面表示

一枚表示（情報表示あり）

全画面表示（情報表示あり）

②表示画像番号／全画像数

表示されている画像の入力メディア情報が表示されます。

表示	意味
	“ メモリースティック ” 入力
SD	SD メモリーカード入力
CF	コンパクトフラッシュカード入力
xD	xD-Picture Card 入力
USB	外部機器入力
	内蔵メモリー入力

③画像詳細表示

– ファイル形式（JPEG（4:4:4)、JPEG（4:2:2)、JPEG（4:2:0)、BMP、TIFF、RAW）
– 画素数（画像の幅×画像の高さ）
– 画像入力機器のメーカー名
– 画像入力機器のモデル名
– 露出時間 （例：1/8）
– 絞り値（例：F2.8）
– 露出補正値（例：＋ 0.0EV）
– 回転情報

④設定情報

表示	意味
	プロテクト表示
	関連付けファイル表示 （E メール用の小さな画像や動画などの関連ファイルがあるときに表示されます。）
	マークを付けた場合に表示されます。

⑤画像番号（フォルダー －ファイル番号）

DCF 準拠の画像の場合、表示されます。

非 DCF の画像の場合、ファイル名の先頭 10 文字が表示されます。

⑥撮影年月日・撮影時間

スライドショーをもっと楽しむ

メモリーカードや内蔵メモリーの画像を次々と自動的に表示できます。
電源をつけるとスライドショーは続きから再生されます。

1　ビューモードボタンを押す。

ビューモード画面が表示されます。

2　（スライドショー）を選ぶ。

ちょっと一言

本体から操作する場合は、←/→/↓/↑ ボタンでカーソルをグループエリアに移動させてから、←/→ ボタンで （スライドショー）を選択してください。



3　←/→/↓/↑ ボタンでお好みのスタイルを選び、 ボタンを押す。



詳しくは、「スライドショー表示」（23 ページ）をご覧ください。

スライドショーの設定を変更する

1　メニューボタンを押す。

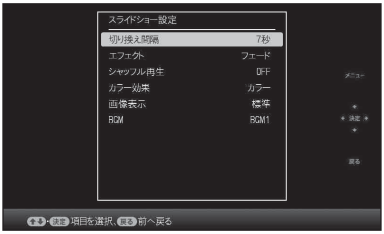
メニューが表示されます。

2　←/→ ボタンで （設定）タブを選ぶ。

設定メニュー画面が表示されます。

3　↓/↑ ボタンで［スライドショー設定］を選び、 ボタンを押す。

［スライドショー設定］の設定画面が表示されます。



4　↓/↑ ボタンで変更したい項目を選び、 ボタンを押す。

設定項目については、次ページの表をご覧ください。

ご注意

- メモリーカードからスライドショーを行う場合は以下にご注意ください。
  - メモリーカードはデバイスの特性上、読み出し回数の多さが原因でデータ化けなどのエラーが発生することがあります。
  - 少ない枚数での長時間のスライドショーはデータエラーの原因になりますのでおやめください。
  - メモリーカード内の画像の定期的なバックアップをお勧めします。
- スライドショー表示中など本体の状態によっては、設定できない項目があります。設定できない項目は灰色で表示され、選択できません。
- スタンバイモードにせずに主電源を切ったり、リセットするとスライドショーは最初から始まります。

次のページにつづく

いろいろな機能を使ってみよう（応用編）

- 周囲の明るさに比べ、明るすぎる状態の画面を注視すると気分が悪くなる可能性があります。明るさの設定に注意してご使用ください。

ちょっと一言

本体のビューモードボタンからも操作できます。

項目	設定	内容	
スライドショー設定	切り換え間隔	画像を切り換える間隔を 3 秒、7 秒*、20 秒、1 分、5 分、30 分、1 時間、3 時間、12 時間、24 時間の間で設定します。 **ご注意** スライドショーのスタイルやカラー効果、画像サイズによっては、設定した切り換え間隔で画像が切り換わらないことがあります。	
	エフェクト	センタークロス	前の画像を十字型に開いて、画像を切り換えます。
		ブラインド縦	ブラインドを縦に下ろすように、画像を切り換えます。
		ブラインド横	ブラインドを横に引くように、画像を切り換えます。
		フェード*	2 枚の画像をフェードアウト、フェードインで切り換えます。
		ワイプ	一方向へ前の画像を上から覆うように、画像を切り換えます。
		ランダム	上記の 5 種類のエフェクトをランダムに使用して画像を切り換えます。
	シャッフル再生	ON	画像をランダムに表示します。
		OFF *	本体設定の画像表示順に従って画像を表示します。
	カラー効果	カラー*	画像をカラーで表示します。
		セピア	画像をセピアで表示します。
		モノクロ	画像をモノクロで表示します。
		くっきり補正	くっきり補正後の画像を表示します。

*:工場出荷時の設定

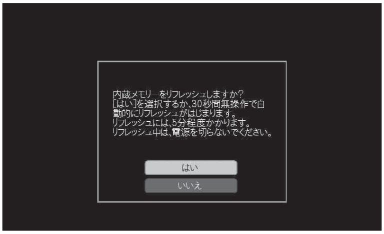
<table>
<tr><th>項目</th><th>設定</th><th colspan="2">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="4">スライドショー設定</td><td rowspan="3">画像表示</td><td colspan="2">表示サイズを［標準］、または［全画面］から選びます。
ご注意
画像データ自体は変更されません。</td></tr>
<tr><td>標準＊</td><td>画像全体を適切な大きさまで拡大して表示します。（上下左右に黒い帯が表示されることがあります。）</td></tr>
<tr><td>全画面</td><td>画像の縦横比はそのままで、上下左右を一部カットして画面いっぱいに表示します。
ご注意
スライドショーのスタイルによっては、設定したサイズで表示されないことがあります。</td></tr>
<tr><td>BGM</td><td colspan="2">HDMI 端子にテレビを接続したときにテレビのスピーカーから音楽を再生します。［BGM1 ＊］、［BGM2］の 2 種類から選べます。BGM を使用しない時は［OFF］を選びます。</td></tr>
</table>

＊：工場出荷時の設定

リフレッシュモード

内蔵メモリーに保存された画像は、デバイスの特性上、時間の経過や読み出し回数の多さが原因でデータ化けなどのエラーが発生することがあります。

本機は、こういったエラーを防ぐため、ご使用状況に応じて自動で内蔵メモリーのリフレッシュを行います。
リフレッシュが必要なタイミングになると、リフレッシュ画面が自動で表示されます。
「はい」を選択、または 30 秒間無操作で自動的に開始します。
「いいえ」を選択すると、再度必要なタイミングでリフレッシュ画面が表示されます。



内蔵メモリーのリフレッシュ中は、本機の電源を切らないでください。故障の原因となることがあります。
リフレッシュには 5 分程度かかる場合があります。

ご注意

- 内蔵メモリー内の画像データは、こまめにバックアップをとってください。
- 10 枚以下の画像数で、スライドショー切り換え間隔が 3 秒での継続したご使用はお控えください。内蔵メモリーの画像を保護できない場合があります。

アルバムに追加する

（内蔵メモリーに追加する）

大切な画像を、内蔵メモリーに保存することによって、電子アルバムとして使用できます。

ちょっと一言

アルバムに保存する画像のサイズを最適化するか、圧縮せずに保存するかをあらかじめ[アルバム保存サイズ]で設定できます（56 ページ）。
[アルバムサイズ]の場合、DPF-X800/X1000 では約 4000 枚保存できます。[原画サイズ]の場合、画像のサイズによって保存できる枚数が変わります。

1 メモリーカードまたは外部機器の画像を表示した状態で、（アルバム）ボタンを押す。

アルバムに追加メニューが表示されます。

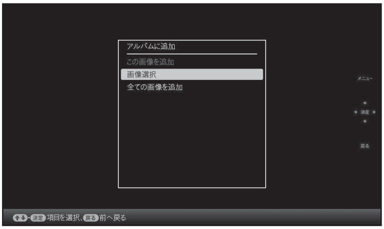
ちょっと一言

本体から操作する場合、メニューボタンを押し、←/→ ボタンで （画像操作）を選択してから、↓/↑ ボタンで[アルバムに追加]を選択してください。

一枚表示の場合



スライドショーの場合



インデックス表示の場合



2 **↓/↑ ボタンで、［この画像を追加］、［画像選択］、または、［全ての画像を追加］を選び、⊕ ボタンを押す。**

［この画像を追加］を選ぶと、現在選択している画像をアルバムに追加します。手順 4 へ進んでください。

（スライドショー選択時は［この画像を追加］は選択できません。）

［画像選択］を選ぶと、画像一覧が表示され、追加したい画像を選択できます。手順 3 へ進んでください。

［全ての画像を追加］を選ぶと、全ての画像に「✔」がついた状態で画像一覧を表示します。手順 4 へ進んでください。

3 **画像一覧から、追加する画像を指定する。**

画像一覧について

検索実行中：検索中の条件に当てはまる画像を一覧表示します。

検索解除時：現在表示されている画像の入ったデバイスの画像を一覧表示します。

（検索については、39 ページをご覧ください。）

① ←/→/↓/↑ ボタンでアルバムに追加したい画像を選び、⊕ ボタンを押す。
選択された画像には「✔」がつきます。
複数の画像を同時に追加したい場合は、この操作を繰り返します。



選択を解除する場合は、解除したい画像を選択し ⊕ ボタンを押すと「✔」が消えます。

② メニューボタンを押す。
フォルダー選択画面が表示されます。

4 **↓/↑ ボタンで保存先のフォルダーを選び、⊕ を押す。**

追加の確認画面が表示されます。



ちょっと一言

［新規］を選ぶと、保存先のフォルダーが自動的に作成されます。

いろいろな機能を使ってみよう（応用編）

次のページにつづく

5 **↓/↑ ボタンで、[はい] を選び、⊕ ボタンを押す。**

画像が内蔵メモリーの指定フォルダーに保存されます。

6 **確認画面が表示されたら、⊕ ボタンを押す。**

ご注意

- 内蔵メモリーの画像はアルバムに追加できません。
- アルバムに追加中は、電源を切ったり、メモリーカードや外部機器を取りはずしたりしないでください。本機やメモリーカードを破損したり、データを破損する場合があります。

ちょっと一言

- リモコンのメニューボタンから操作する場合は、メニューボタンを押し、↓/↑ ボタンで（画像操作）タブから[アルバムに追加]を選び、⊕ボタンを押します。
- 本体のメニューボタンからも操作できます。
- 画像一覧で拡大/縮小を使ってサムネイルの大きさを切り換えることができます。
- 内蔵メモリーに記録した画像は、内蔵メモリーのデバイスの特性上、時間の経過や、読み出し回数の多さが原因でデータ化けなどのエラーが発生することがありますので、定期的なバックアップをお勧めします。

画像を書き出す

内蔵メモリーに保存されたアルバムの画像を、メモリーカードや外部機器に書き出せます。

1 **内蔵メモリーの画像を表示した状態でメニューボタンを押す。**

メニューが表示されます。

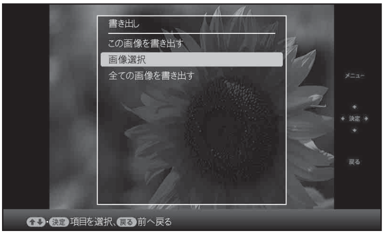
2 **←/→ ボタンで（画像操作）タブを選ぶ。**

画像操作メニュー画面が表示されます。

3 **↓/↑ ボタンで［書き出し］を選び、⊕ ボタンを押す。**

書き出しメニューが表示されます。

一枚表示の場合



4 **↓/↑ ボタンで、[この画像を書き出す]、[画像選択] または、[すべての画像を書き出す] を選び、⊕ ボタンを押す。**

［この画像を書き出す］を選ぶと、現在選択している画像を書き出します。手順 6 へ進んでください。
（スライドショー選択時は［この画像を書き出す］は選択できません。）

［画像選択］を選ぶと、画像一覧が表示され、書き出したい画像を選択できます。手順５へ進んでください。
［全ての画像を書き出す］を選ぶと、全ての画像に「✔」がついた状態で画像一覧を表示します。手順６へ進んでください。

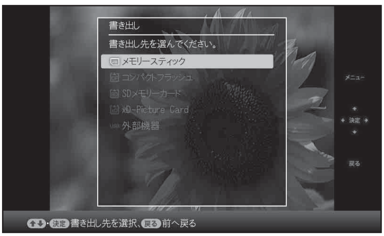
5 画像一覧から、書き出す画像を指定する。

画像一覧について
検索実行中：検索中の条件に当てはまる画像を一覧表示します。
検索解除時：アルバム内の全画像を一覧表示します。
（検索については、39ページをご覧ください。）

①←/→/↓/↑ボタンで書き出したい画像を選び、⊕ボタンを押す。
選択された画像には「✔」がつきます。
複数の画像を同時に書き出したい場合は、この操作を繰り返します。
選択を解除する場合は、解除したい画像を選択し⊕ボタンを押すと「✔」が消えます。

②メニューボタンを押す。
書き出すデバイスを選択する画面が表示されます。

6 ↓/↑ボタンで、画像を書き出すデバイスを選び、⊕ボタンを押す。



7 ↓/↑ボタンで保存先のフォルダーを選び、⊕ボタンを押す。

書き出しの確認画面が表示されます。



ちょっと一言

［新規］を選ぶと、保存先のフォルダーが自動的に作成されます。

8 ↓/↑ボタンで［はい］を選び、⊕ボタンを押す。

画像が書き出されます。

9 確認画面が表示されたら⊕ボタンを押す。

画像が指定したデバイスにコピーされます。

ご注意

画像の書き出し中は、電源を切ったり、メモリーカードや外部機器を取りはずしたりしないでください。本機やメモリーカードを破損したり、データを破損する場合があります。

ちょっと一言

- 本体のメニューボタンからも操作できます。
- インデックス表示の場合でも、画像の拡大／縮小ができます。
- 本機に認識されないデバイスは灰色で表示され、選択できません。

画像を削除する

1 **画像を表示した状態でメニューボタンを押す。**
メニューが表示されます。

2 **←/→ ボタンで（画像操作）タブを選ぶ。**
画像操作メニュー画面が表示されます。

3 **↓/↑ ボタンで［削除］を選び、⊕ ボタンを押す。**

4 **↓/↑ ボタンで、［この画像を削除］、［画像選択］、［全ての画像を削除］を選び、⊕ ボタンを押す。**
［この画像を削除］を選ぶと、現在選択している画像を削除します。手順6へ進んでください。
（スライドショー選択時は［この画像を削除］は選択できません。）
［画像選択］を選ぶと、画像一覧が表示され、削除したい画像を選択できます。手順5へ進んでください。
［全ての画像を削除］を選ぶと、全ての画像に「✔」がついた状態で画像一覧を表示します。手順6へ進んでください。

5 **画像一覧から、削除する画像を指定する。**
画像一覧について
検索実行中：検索中の条件に当てはまる画像を一覧表示します。
検索解除時：現在表示されている画像の入ったデバイスの全画像を一覧表示します。
（検索については、39ページをご覧ください。）

①←/→/↓/↑ ボタンで削除したい画像を選び、⊕ ボタンを押す。選択された画像には「✔」がつきます。
複数の画像を同時に削除したい場合は、この操作を繰り返します。
選択を解除する場合は、解除したい画像を選択し⊕ ボタンを押すと「✔」が消えます。
②メニューボタンを押す。
削除の確認画面が表示されます。

6 **↓/↑ ボタンで、［はい］を選び、⊕ ボタンを押す。**
画像が削除されます。

7 **削除が終わり、確認画面が表示されたら⊕ ボタンを押す。**

内蔵メモリーを初期化するには

1 メニューボタンを押す。
メニューが表示されます。

2 ←/→ ボタンで（設定）タブを選ぶ。
設定メニュー画面が表示されます。

3 ↓/↑ ボタンで［工場出荷状態に戻す］を選び、⊕ボタンを押す。

4 ↓/↑ ボタンで［内蔵メモリーの初期化］を選び、⊕ボタンを押す。
初期化の確認画面が表示されます。

5 ↓/↑ ボタンで［はい］を選び、⊕ボタンを押す。

ご注意

- ［プロテクトファイルは削除できません。］というメッセージが表示された場合、その画像はコンピューターで属性を「読み取り専用」に設定されています。本機では削除できないため、コンピューターに接続して、コンピューター上で削除してください。
- 内蔵メモリー初期化のすぐあとでも、内蔵メモリーの総容量と残容量は同じにはなりません。

- 削除を開始すると、途中で中止しても削除した画像を元に戻すことはできません。削除するときは、画像をよく確認してから削除を実行してください。

ちょっと一言

- 本体のメニューボタンからも操作できます。
- インデックス表示の場合でも、画像の拡大、縮小ができます。

画像にマークを付ける

お好みの画像にマークを付けることによりマークを付けた画像のみを表示してスライドショーなどお楽しみいただけます。マークをインデックスや一枚表示から簡単に確認できます。

1 画像を表示した状態でメニューボタンを押す。

メニューが表示されます。

2 ←/→ ボタンで（画像操作）タブを選ぶ。

画像操作メニュー画面が表示されます。

3 ↓/↑ ボタンで、［マーク操作］を選び、⊕ ボタンを押す。

4 ↓/↑ ボタンでお好みのマークを選び、⊕ ボタンを押す。



5 ↓/↑ ボタンで、［この画像に付ける］、［画像選択］または、［全ての画像に付ける］を選び、⊕ ボタンを押す。

［この画像に付ける］を選ぶと、現在選択している画像にマークを付けます。手順 7 へ進んでください。

次のページにつづく

（スライドショー選択時は［この画像に付ける］は選択できません。）
［画像選択］を選ぶと、画像一覧が表示され、マークを付ける画像を選択できます。手順 6 へ進んでください。
［全ての画像に付ける］を選ぶと、全ての画像に「✔」がついた状態で画像一覧を表示します。手順 7 へ進んでください。

6 マークを付ける画像を指定する。

画像一覧について
検索実行中：検索中の条件に当てはまる画像を一覧表示します。
検索解除時：現在表示されている画像の入ったデバイスの全画像を一覧表示します。
（検索については、39 ページをご覧ください。）

① ←/→/↓/↑ ボタンでマークを付ける画像を選び、(✛) ボタンを押す。
選択された画像には「✔」がつきます。
複数の画像に同時にマークを付ける場合は、この操作を繰り返します。
選択を解除する場合は、解除したい画像を選択し、(✛) ボタンを押すと「✔」が消えます。

②「✔」の付いた画像にマークが付きます。
（マークの付いている画像の「✔」を外すと、マークも外れます。）

7 ↓/↑ ボタンで、［はい］を選び、(✛) ボタンを押す。

選択した画像にマークがつきます。

登録したマークを外すには

手順 5 で［この画像から外す］または、［全ての画像から外す］を選び、(✛) ボタンを押します。また、「✔」を解除することで、マークを外すことができます。

- この画像から外す：現在選択されている画像からマークを削除します（スライドショー選択時は選べません。）
- 全ての画像から外す
  検索実行中：検索中の条件に当てはまる全画像からマークを削除します。
  検索解除時：現在表示されている画像の入ったデバイスの全画像からマークを削除します。

ご注意

マークは内蔵メモリーの画像に設定した場合のみ保存されます。
メモリーカードや外部機器の画像に設定したマークは、電源を切ったり再生デバイスの切り換えを行なうと解除されます。

ちょっと一言

- 3 種類からマークを選択できます。
- 本体のメニューボタンからも操作できます。
- インデックス表示の場合でも、画像の拡大、縮小ができます。

画像を検索する

（絞り込み）

内蔵メモリーまたはメモリーカードの中の画像をイベント、フォルダー、画像の向き、マークなどの条件から絞り込めます。

1 画像を表示した状態でメニューボタンを押す。

メニューが表示されます。

2 ←/→ ボタンで（画像操作）タブを選ぶ。

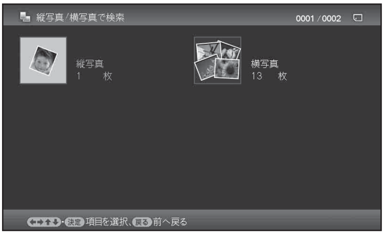
画像操作メニュー画面が表示されます。

ご注意

時計·カレンダー表示中は、（画像操作）タブを選択することはできません。

3 ↓/↑ ボタンで、［検索（絞り込み）］を選び、⊕ ボタンを押す。

4 ↓/↑ ボタンで検索条件を選び、⊕ ボタンを押す。



- イベント選択：イベントから画像を絞り込みます。
- フォルダーを指定；フォルダーから画像を絞り込みます
- 画像の縦横を指定：画像の向きから画像を絞り込みます。
- マークを指定：マークの種類から画像を絞り込みます。

5 ↓/↑ ボタンで項目を選び、⊕ ボタンを押す。

検索を解除するには

検索した画像を表示中にメニューボタンを押して、［絞り込み解除］を選んでください。

検索条件を変更するには

検索した画像を表示中に戻るボタンを押します。

ご注意

- 検索中に電源を切ったり、メモリーカードや外部機器を取りはずしたりしないでください。本機やメモリーカードを破損したり、データを破損する場合があります。
- 次の場合は、検索が自動的に解除されます。
  - 再生デバイスを変更したとき
  - メモリーカードまたは外部機器の画像を検索し、そのメモリーカードを抜いたとき

ちょっと一言

- 本体のメニューボタンからも操作できます。

再生デバイスを選択する

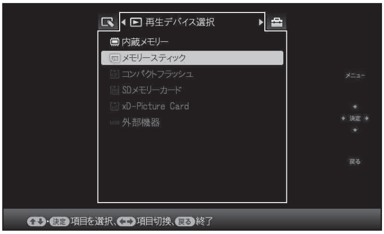
メモリーカード、外部機器など表示するデバイスを指定することができます。

1 メニューボタンを押す。

メニューが表示されます。

2 ←/→ ボタンで ▶（再生デバイス選択）タブを選ぶ。

再生デバイス選択画面が表示されます。



ちょっと一言

選択したいデバイスが挿入されていない場合は、ここで挿入してください。

3 ↓/↑ ボタンで表示したい再生デバイスまたは外部機器を選び、⊕ ボタンを押す。

選択した再生デバイスまたは外部機器の画像が表示されます。

ちょっと一言

- 本体のメニューボタンからも操作できます。
- 検索実行中に再生デバイスを変更すると、自動的に検索が解除されます。

くっきり補正

くっきり補正とは？

くっきり補正では以下の 6 つの補正を同時に行います。それぞれのレベルについては、55 ページをご覧ください。

- 赤目補正：フラッシュによる赤目を補正します。
- 逆光補正：顔検出機能を使って、明るさを補正します。
- ピンボケ補正：ピンボケの画像をフォーカスの合った画像に補正します。
- ホワイトバランス補正：撮影時の光源（照明）により、全体的に赤みがかったり、青みがかったりした画像を、自然に近い色に自動補正します。
- 自動覆い焼き：画像の中の明るい部分はそのままに、黒くつぶれた部分を自動的に明るく補正します。
- 美肌補正：自動的に肌色を認識し、美しい肌に補正します。

1 補正したい画像を一枚表示画面で表示する。

2 くっきり補正ボタン押す。

選択した画像の補正が始まり、左に補正前の画像が、右に補正結果が表示されます。

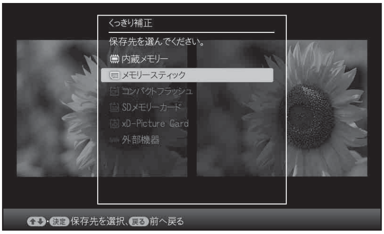


3 **↓/↑ ボタンで［保存］を選び、⊕ ボタンを押す。**

4 **↓/↑ ボタンで保存方法を選ぶ。**

［新規保存］を選ぶと元の画像とは別に保存されます。
［上書き保存］を選ぶと、元の画像に置き換えて保存されます。
［上書き保存］を選んだ場合は保存の確認画面が表示されます。手順 7 に進んでください。

5 **↓/↑ ボタンで、補正した画像を保存するデバイスを選び、⊕ ボタンを押す。**



6 **↓/↑ ボタンで保存先のフォルダーを選び、⊕ ボタンを押す。**

保存の確認画面が表示されます。

7 **↓/↑ ボタンで［はい］を選び、⊕ ボタンを押す。**

画像が保存されます。

8 **画像の保存が終わり、確認画面が表示されたら ⊕ ボタンを押す。**

元の画像（補正前の画像）に戻すには

手順 2 で［キャンセル］を選びます。

ご注意

- 画像によっては、くっきり補正の効果が適切に得られない場合があります。
- 画像の状態によっては、補正に時間がかかる場合があります。

ちょっと一言

リモコンのメニューで操作する場合は、メニューボタンでメニューを表示し、↓/↑ ボタンで（画像操作）タブから［くっきり補正］を選び、⊕ ボタンを押します。

本機の自動赤目補正は、米国 FotoNation Inc. の技術を使用してます。

SILKYPIX®
本機の美肌補正は㈱市川ソフトラボラトリー社の技術を使用しています。

画像サイズと位置を調整する

画像を拡大／縮小する

一枚表示中にお好みの画像を拡大 / 縮小できます。

1 拡大するにはリモコンの⊕（拡大）ボタンを、拡大したものを縮小するには⊖（縮小）ボタンを押す。

⊕ボタンを押すたびに、拡大率が増加します。最大 5 倍まで拡大できます。拡大した場合、上下左右に移動できます。

トリミング保存について

- 拡大した画像を ←/→/↓/↑ ボタンで動かした状態でメニューボタンを押すと、表示されている画面がトリミングされた状態で保存されます。
- 拡大、縮小した状態でメニューボタンを押すと、新規保存、または上書き保存ができます。
  ↓/↑ ボタンで保存方法を選んでください。
- ［新規保存］を選ぶと元の画像とは別に保存されます。
- ［上書き保存］を選ぶと、元の画像に置き換えて保存されます。［上書き保存］を選んだ場合は保存の確認画面が表示されます。41 ページの手順 4 に進んでください。

ご注意

- JPEGファイル（拡張子JPG）以外は、上書き保存ができません。
- 拡大した場合は、画像サイズによっては画質が低下することがあります。
- 本体のボタンからは拡大･縮小はできません。

画像を回転する

リモコンの回転（ ）ボタンを押す。

ボタンを押すたびに、画像が反時計回りに 90 度回転します。

本体から操作する

1 一枚画面表示中にメニューボタンを押す。

メニューが表示されます。

2 ←/→ ボタンで （画像操作）タブを選ぶ。

画像操作メニュー画面が表示されます。

3 ↓/↑ ボタンで［回転］を選び、⊕ ボタンを押す。

回転メニューが表示されます。



4 ↓/↑ ボタンで、回転方向を選び、⊕ ボタンを押す。

- ：時計回りに 90 度回転します。
- ：反時計回りに90度回転します。

5 ↓/↑ ボタンで、［OK］を選び、⊕ ボタンを押す。

ご注意

拡大した画像は回転できません。

ちょっと一言

- 内蔵メモリーの場合、画像を回転させた情報は、電源を切ったあとも保持されます。
- インデックス表示の画像も回転できます。

クリエイティブエディット機能を使う

さまざまな機能を使って画像のデコレーションをお楽しみいただけます。

1 メニューボタンを押す。

メニューが表示されます。

2 ←/→ ボタンで （画像操作）タブを選ぶ。

画像操作メニュー画面が表示されます。

3 ↓/↑ ボタンで［クリエイティブエディット］を選び、 ボタンを押す。

クリエイティブエディットメニューが表示されます。

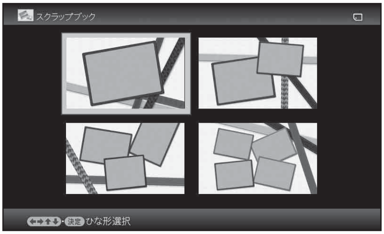
スクラップブックを作る

1 クリエイティブエディットメニューから、←/→/↓/↑ ボタンで、 （スクラップブック）を選び、 ボタンを押す。

テーマの選択画面が表示されます。

2 ←/→/↓/↑ ボタンでテーマを選び、 ボタンを押す。

選択したテーマのひな形を選ぶ画面が表示されます。



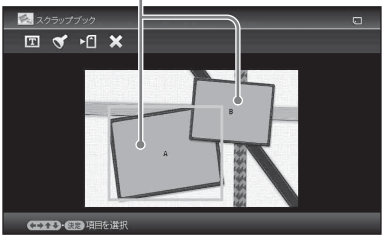
3 ←/→/↓/↑ ボタンでひな形を選び、 ボタンを押す。

選択したひな形が表示されます。

4 画像を選ぶ。

複数の画像が入るひな形を選んだときは、それぞれの画像エリアについて画像を選びます。

画像エリア



① ←/→/↓/↑ ボタンで画像エリアを選び、 ボタンを押す。
画像選択画面が表示されます。

② ←/→/↓/↑ ボタンで画像を選び、 ボタンを押す。
画像の調整画面が表示されます。

次のページにつづく

5 画像の位置や大きさなどを調整する。

←/→ボタンで調整ボタンを選び、⊕ボタンを押します。

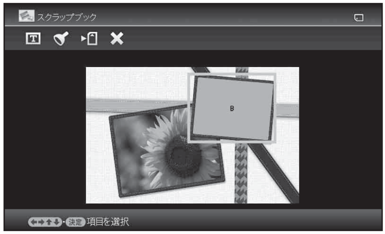


項目	操作方法
⊖／⊕	画像を拡大、縮小します。
(手のひらアイコン)	←/→/↓/↑ ボタンを押して移動し、⊕ボタンで位置を確定します。
(回転アイコン)	時計方向に 90 度回転します。
(補正アイコン)	自動的に逆光、ピンボケ、赤目などを補正します。(55 ページ)

6 ←/→ ボタンで OK を選び、⊕ ボタンを押す。

画像が画像エリアに追加されます。

- 他の画像エリアに画像を挿入するには、手順 4、5 を行います。
- ツールボタンを使って画像に文字やスタンプを付けるには、手順 7 に進んでください。



7 文字やスタンプを付ける。

←/→ ボタンで文字やスタンプなどの設定を選び、⊕ ボタンを押します。

項目	操作方法
(Tアイコン)	文字の入力ができます。
(スタンプアイコン)	←/→/↓/↑ ボタンで好きなスタンプを選び、押すことができます。
(保存アイコン)	編集した画像をメモリーカードや内蔵メモリー、外部機器に保存することができます。
✕	作成を終了します。

■スタンプを付けるには

① ←/→ ボタンで、(スタンプ)を選び、⊕ボタンを押す。
スタンプ選択画面が表示されます。

② ←/→/↓/↑ ボタンでスタンプを選び、⊕ボタンを押す。
選択したスタンプが画面の中央に表示されます。

③ ←/→/↓/↑ ボタンでスタンプの位置を調整し、⊕ボタンを押す。
スタンプが設定した位置に押されます。

同じスタンプを付けるには
⊕ボタンを押し、位置を調整します。戻るボタンで解除するまで、同じスタンプが押されます。

別のスタンプを押すには
戻るボタンを 2 回押し、スタンプ選択画面でスタンプを選び、手順②、③ を繰り返します。

スタンプの大きさを調整したり、反転させるには
戻るボタンを押し、手順 6 の画面で、（ミラー反転）を選び、⊕ボタンを押して反転させます。大きさを調整するには、リモコンの ／ ボタンを押します。一度大きさと反転を設定すると、変更するまで次のスタンプにも反映されます。

■文字を入力するには

① ←/→ ボタンで、（テキスト）を選んでから、↓/↑ ボタンで［キーボード入力］を選び、⊕ボタンを押す。
キーボードが表示されます。



② 文字を入力する
←/→/↓/↑ ボタンで文字を選び、⊕ボタンを押す。
選んだ文字は入力行に表示されます。約 50 文字まで入力することができます。

文字や記号を切り換えるには
小文字、大文字、記号は、［A/a/@］ボタンを選択して、⊕ボタンを押すたびに切り換わります。

文字を削除するには
←/→/↓/↑ ボタンで入力行の［←］/［→］を選び、削除したい文字の後ろにカーソルが移動するまで⊕ボタンを押します。←/→/↓/↑ ボタンで［削除］を選び、⊕ボタンを押します。押すたびに入力行の文字が削除されます。

ちょっと一言
文字入力中にキーボード内の ↓/↑ ボタンを選び、過去に入力した文字の履歴を表示して、再利用ができます。

③ 書体を選ぶ。
←/→/↓/↑ ボタンで［フォント］を選び、使いたい書体が表示されるまで⊕ボタンを押します。
5 書体（ゴシック、丸系ゴシック、明朝（イタリック）、丸系明朝（イタリック）、手書き風から選べます。

ABCDEFG abcdefg 1234567890
ABCDEFG abcdefg 12345567890
ABCDEFG abcdefg 1234567890
ABCDEFG abcdefg 1234567890
ABCDEFG abcdefg 1234567890

ご注意
1 回の入力で、異なるフォントの指定はできません。すべての行が同じフォントになります。入力の途中で、フォントは変更できますが、すべての行に変更内容が反映されます。

次のページにつづく

④ 文字色を選ぶ。

←/→/↓/↑ ボタンで［OK］を選び、⊕ボタンを押すと、色選択画面が表示されます。←/→/↓/↑ ボタンで文字色を選び、⊕ボタンを押します。文字入力画面が閉じ、プレビュー画面に入力した文字が表示されます。⊕ボタンを押した時点で、入力文字内容が本機に記憶されます。最大で 12 個まで記憶できます。

⑤ 入力した文字のレイアウトを調整する。

←/→/↓/↑ ボタンで調整したい項目を選び、⊕ボタンを押し、文字サイズと位置を調整します。調整方法については、44 ページの手順 5 をご覧ください。

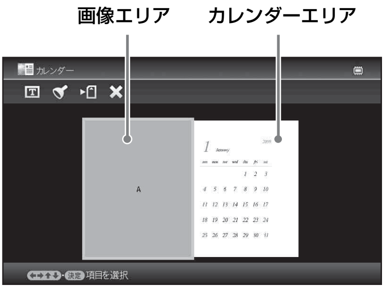
カレンダーを作る

1 **クリエイティブエディットメニュー（43 ページ）から ←/→/↓/↑ ボタンで、（カレンダー）を選び、⊕ ボタンを押す。**

カレンダーのひな型の選択画面が表示されます。

2 **←/→/↓/↑ ボタンでひな形を選び、⊕ ボタンを押す。**

選択したひな形のプレビュー画像が表示されます。



3 **画像を選ぶ。**

複数の画像が入るひな形を選んだときは、それぞれの画像エリアについて画像を選びます。選択方法は、43 ページの手順 4 をご覧ください。画像を選択すると調整画面が表示されます。文字やスタンプを入力するには 44 ページをご覧ください。

ちょっと一言

どのエリアを先に選択してもかまいません。

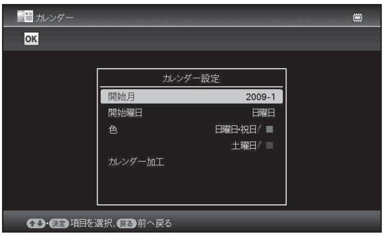
4 **画像を調整する。**

調整方法については、44 ページの手順 5 をご覧ください。画像は、画像エリアに追加されます。

5 **カレンダーを設定する。**

① ←/→/↓/↑ ボタンでカレンダーエリアを選び、⊕ボタンを押す。

カレンダー設定画面が表示されます。



② ↓/↑ ボタンで変更したい項目を選び、⊕ボタンを押す。

項目	設定内容
開始月	カレンダーを開始する年と月を設定します。←/→ ボタンで年を選び、↓/↑ ボタンで数値を変更し、⊕ボタンを押します。同様に月も設定します。
開始曜日	カレンダーの左端にくる曜日を設定します。↓/↑ ボタンで［日曜日］または［月曜日］を選び⊕ボタンを押します。
色	休日の表示色を設定します。↓/↑ ボタンで日曜日・祝日・土曜日の文字色を選び⊕ボタンを押します。
カレンダー加工	カレンダーの特定の日にスタンプを付けたり、指定した色を付けることができます。 **(例)「スタンプ」を付ける場合** ① ←/→ ボタンで（スタンプ）を選び、⊕ボタンを押す。 スタンプ選択画面が表示されます。 ② ←/→/↓/↑ ボタンでスタンプを選び、⊕ボタンを押す。  カレンダー画面が表示されます。 ③ ←/→/↓/↑ ボタンでスタンプを付けたい日付けを選び、⊕ボタンを押して、スタンプを押す。 別のスタンプを押すには、戻るボタンを押し、手順 ② と ③ を繰り返します。  ④ ↓/↑ ボタンで OK を選び、⊕ボタンを押す。 カレンダー加工を終了するには、←/→ ボタンで OK を選び、⊕ボタンを押してカレンダー設定画面に戻ります。日付色変更も同じ操作になります。

カレンダーがカレンダーエリアに表示されます。

ご注意

カレンダーの祝祭日は、2008 年現在の祝祭日を参考にしています。今後変更された場合には、手動で色をかえてください。また、春分、秋分の日は、計算による日にちを使っています。実際の日にちとずれることがありますので、その場合も手動で変更してください。

次のページにつづく

手書き合成やメッセージを入れる

ちょっと一言

手書きの文字やイラストを作成する場合は、あらかじめ白い用紙に黒いペンなどで文字などを描き、デジタルカメラで撮影し、メモリーカードに保存します。

手書き合成やメッセージの履歴について

作成した手書き合成画像、本体で入力したメッセージは最大 12 個まで自動的に保存されます。（古いものから順に削除されます。）保存された手書き合成画像やメッセージは再度利用することができます。

1 **クリエイティブエディットメニュー（43 ページ）から ←/→/↓/↑ ボタンで、（手書き合成／スタンプ）を選び、(決定) ボタンを押す。**

2 **背景になる画像を選ぶ。**

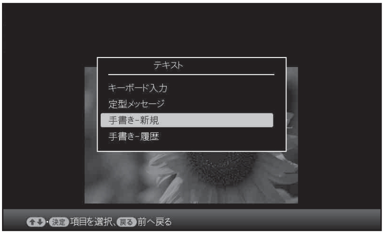
① ←/→/↓/↑ ボタンで背景にしたい画像を選び、(決定) ボタンを押す。
画像の調整画面が表示されます。
調整方法については、44 ページの手順 5 をご覧ください。

② ←/→ ボタンで OK を選び、(決定) ボタンを押す。
プレビュー画面が表示されます。

3 **手書きの文字やイラスト、または定型メッセージを合成する。**

■手書きメッセージを合成する

① ←/→ ボタンで、T（テキスト）を選び、(決定) ボタンを押す。



メッセージの作成方法を選ぶ画面が表示されます。

② 新規にメッセージを作成する場合は［手書き－新規］を、過去の履歴を使用して作成する場合は［手書き－履歴］を選び、(決定) ボタンを押す。

③ 新規で作成する場合：←/→/↓/↑ ボタンで合成したい画像を選び、(決定) ボタンを押す。
用意した画像を選びます。トリミング用のカーソルが表示されます。手順 ④ に進んでください。
履歴から作成する場合：履歴一覧から使用したいメッセージを ←/→/↓/↑ ボタンで選び、(決定) ボタンを押す。
選択したメッセージが画面の中央に表示されます。手順 ⑤ の色選択を行ってください。

④ 必要な場合は、画像をトリミングする。
トリミングしない場合は、ボタンを押します。



自分でトリミング範囲を指定したいときは
（トリミング範囲指定）ボタンを選びます。
←/→/↓/↑ ボタンでトリミングの始点にしたい場所にカーソルを移動し、ボタンを押します。
同様にトリミングの終点設定します。



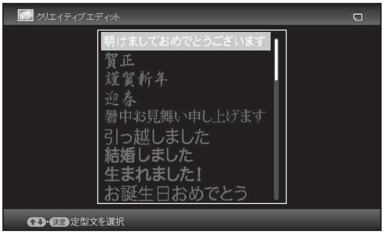
色選択画面が表示されます。

⑤ ←/→/↓/↑ ボタンで色を選び、ボタンを押す。
画像の調整画面が表示されます。
調整方法については、44 ページの手順 5 をご覧ください。

⑥ ←/→ ボタンで OK を選び、ボタンを押す。
プレビュー画像が表示されます。
背景の画像上に手書きの文字またはイラストが表示されます。
ボタンを押した時点で、手書きメッセージは本機に保存されます。（最大 12 個）保存されたメッセージは、手順 ③ の履歴一覧から利用することができます。

■定型メッセージを合成する

① ←/→ ボタンで、T（テキスト）を選び、ボタンを押す。
↓/↑ ボタンで［定型メッセージ］を選ぶと定型メッセージ選択画面が表示されます。



② ↓/↑ ボタンで合成したい定型メッセージを選び、ボタンを押す。
色選択画面が表示されます。

③ ←/→/↓/↑ ボタンで色を選び、ボタンを押す。
定型メッセージの調整画面が表示されます。調整方法については、44 ページをご覧ください。

④ ←/→ ボタンで OK を選び、ボタンを押す。
プレビュー画像が表示されます。
メッセージが背景の画像上に表示されます。

文字やスタンプを入力するには、44 ページをご覧ください。

次のページにつづく

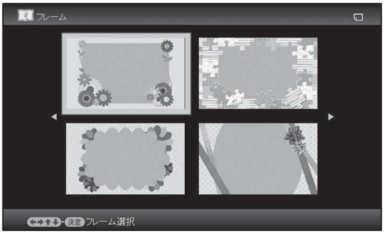
複数のメッセージを貼付けるには

←/→ ボタンで T（テキスト）を選び、⊕ボタンを押し、手順 3 を繰り返します。

フレームを付ける

1 クリエイティブエディットメニュー（43 ページ）から ←/→/↓/↑ ボタンで、（フレーム）を選び、⊕ ボタンを押す。

フレームの選択画面が表示されます。



2 ←/→/↓/↑ ボタンでフレームを選び、⊕ ボタンを押す。

画像がインデックス表示されます。

3 ←/→/↓/↑ ボタンで画像を選び、⊕ ボタンを押す。

画像の調整画面が表示されます。調整方法については、44 ページの手順 5 をご覧ください。

4 ←/→ ボタンで OK を選び、⊕ ボタンを押す。

画像がフレーム付きで表示されます。

分割写真を作る

以下のような分割写真が作れます。

- 2 分割、4 分割、9 分割、13 分割、16 分割

1 クリエイティブエディットメニュー（43 ページ）から ←/→/↓/↑ ボタンで、（分割写真）を選び、⊕ ボタンを押す。

分割写真のひな形の選択画面が表示されます。



2 ←/→/↓/↑ ボタンでひな形を選び、⊕ ボタンを押す。

選択したひな形のプレビュー画像が表示されます。

3 画像を選ぶ。

複数の画像が入るひな形を選んだときは、それぞれの画像エリアについて画像を選びます。選択方法は、43 ページの手順 4 をご覧ください。画像を選択すると調整画面が表示されます。

4 画像を調整する。

調整方法については、44 ページの手順 5 をご覧ください。画像は、画像エリアに追加されます。
スタンプを貼り付けるには、「スタンプを付けるには」（44 ページ）をご覧ください。

自動電源 ON/OFF の設定を変更する

主電源が入っている場合、自動的に本体の電源を ON/OFF できるタイマー機能を設定できます。

1 メニューボタンを押す。

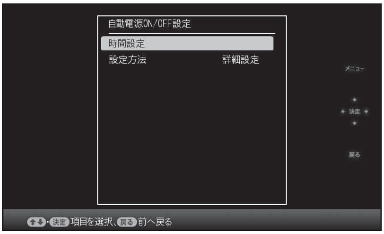
メニューが表示されます。

2 ←/→ ボタンで 🧰（設定）タブを選ぶ。

設定メニュー画面が表示されます。

3 ↓/↑ ボタンで設定を［自動電源 ON/OFF 設定］を選び、⊕ ボタンを押す。

［自動電源 ON/OFF 設定］の画面が表示されます。



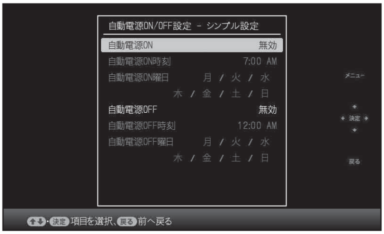
4 ↓/↑ ボタンで［設定方法］を選び ⊕ ボタンを押し、↓/↑ ボタンで［シンプル設定］か［詳細設定］を選び、⊕ ボタンを押す。

［シンプル設定］：1 分単位で詳細な自動電源 ON/OFF 時間を設定できます。

［詳細設定］：曜日別に、1 時間単位で自由に自動電源 ON/OFF 時間を設定できます。

5 時間設定をおこなう。

シンプル設定の場合



① ↓/↑ ボタンで［自動電源 ON/OFF］を選び、⊕ ボタンを押す。

② ↓/↑ ボタンで［有効］を選び、⊕ ボタンを押す。

③［自動電源 ON/OFF 時刻］を設定する。
↓/↑ ボタンで数値設定をします。
時計設定を［12 時間］にしている場合、一番右端に AM か PM かが表示されます。

④［自動電源 ON/OFF 曜日］を設定する。
⊕ ボタンでチェックをつけ、機能を使いたい曜日を選びます。カーソルを［確定］へ移動し、⊕ ボタンを押します。

詳細設定の場合



次のページにつづく

① ←/→/↓/↑ ボタンで自動電源 ON/OFF 機能を使用したい時間を選ぶ。

月曜日から日曜日まで 1 時間単位で選択します。

ボタンを押すと選択した時間帯が青色になります。青色の時間帯は本機の電源が ON となります。青色の時間帯を選んで ボタンを押すと、灰色になります。灰色の時間帯に本機の電源が OFF になります。

ちょっと一言

使用中でも自動電源 OFF の時間となると、電源は自動的に OFF となります。また、スタンバイ中に自動電源 ON の時間となると自動的に電源が ON になります。

② ←/→/↓/↑ ボタンで［確定］を選ぶ。

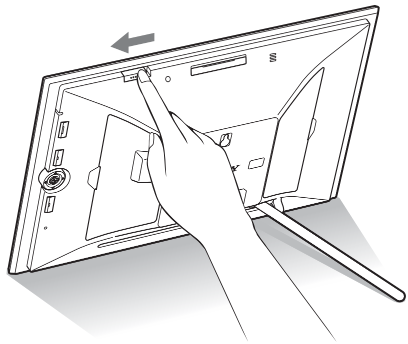
アラーム機能を使う

本機を目覚まし時計としてお使いいただくことができます。

アラームの設定をする

本体背面のアラームスイッチを ON に設定する

主電源が入っている場合、設定した時刻になると、アラーム音とアラーム画面でお知らせします。



アラームをとめるには

本体背面のアラームスイッチを OFF にします。

アラームは止まりますが、アラーム画面は表示され続けます。

本体の ⏻（電源）ボタン以外のボタンを押すと通常の画面に戻ります。

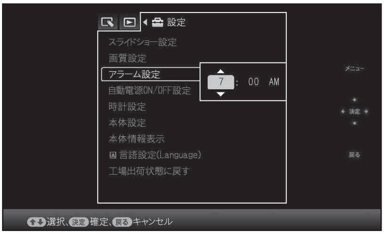
アラーム時間を設定する

1 **メニューボタンを押す。**

2 **←/→ ボタンで （設定）タブを選ぶ。**

設定メニュー画面が表示されます。

3 **↓/↑ ボタンで［アラーム設定］を選び、⊕ ボタンを押す。**



4 **↓/↑ ボタンを押して、時刻を設定する。**

ちょっと一言

- 時計設定を変更するには、「現在時刻を設定する」（19 ページ）をご覧ください。
- アラーム音が鳴っているときに自動電源 OFF 機能の設定時刻になっても自動電源 OFF は働きません。
- 主電源が入っている場合、電源が OFF の状態でも設定時刻になると、自動的に電源が入ります。

設定を変更する

下記の設定を行うことができます。

- スライドショー設定
- 画質設定
- アラーム設定
- 自動電源ON/OFF設定
- 時計設定
- 本体設定（画像表示順、Sony ロゴ点灯など）
- 言語設定
- 工場出荷状態に戻す

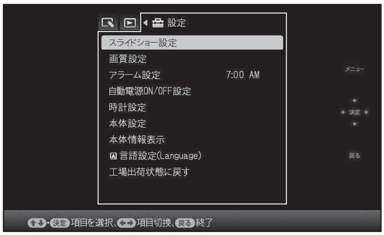
設定手順

1 **メニューボタンを押す。**

メニューが表示されます。

2 **←/→ ボタンで （設定）タブを選ぶ。**

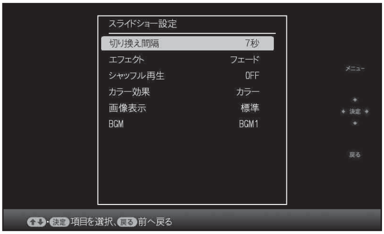
設定メニュー画面が表示されます。



次のページにつづく

3 **↓/↑ ボタンで設定を変更したい項目を選び、(決定) ボタンを押す。**

選択した項目の設定画面が表示されます。



（[スライドショー設定］を選んだ場合）

4 **↓/↑ ボタンで変更したい項目を選び、(決定) ボタンを押す。**

それぞれの項目が設定できるようになります。（55 ページ）

ご注意

スライドショー表示中など本体の状態によっては、設定できない項目があります。設定できない項目はグレーで表示され、選択できません。

5 **↓/↑ ボタンで設定値を選び、(決定) ボタンを押す。**

↓/↑ ボタン（本体の場合は方向ボタン）を押すたびに、設定値が切り換わります。数値の場合は、↑ ボタンで増え、↓ ボタンで減ります。

(決定) ボタンを押すと、設定内容が確定されます。

6 **メニューボタンを押す。**

メニューが終了します。

設定を工場出荷時に戻すには

1 メニューボタンを押して、←/→/↓/↑ ボタンで (設定) タブから［工場出荷状態に戻す］を選ぶ。

2 ↓/↑ ボタンで［設定の初期化］を選び、(決定)ボタンを押す。
時計設定以外の設定値が無効になり、ご購入時の設定に戻ります。

ちょっと一言

本体のメニューボタンからも操作できます。

設定項目

項目	設定	内容	
スライドショー設定	「スライドショーの設定を変更する」(29 ページ)をご覧ください。		
画質設定	画質モード	ポートレイト	適度なコントラストと自然な色彩で表現します。
		スタンダード*	印象的で色鮮やかに表現します。
		ビビッド	彩度とシャープネスが高く、より華やかに表現します。
	くっきり補正設定	赤目補正	フラッシュによる赤目を補正する機能を[ON *]、[OFF]に設定します。
		逆光補正	顔検出機能を使って、明るさを補正します。 [強]、[標準*]、[OFF]から選べます。
		ピンボケ補正	ピンボケの画像をフォーカスの合った画像に補正します。[強]、[標準*]、[OFF]から選べます。
		ホワイトバランス補正	撮影時の光源(照明)により、全体的に赤みがかったり、青みがかったりした画像を、自然に近い色に自動補正します。 [強]、[標準*]、[OFF]から選べます。
		自動覆い焼き	画像の中の明るい部分はそのままに、黒くつぶれた部分を自動的に明るく補正します。 [強]、[標準]、[OFF *]から選べます。
		美肌補正	肌色を認識し、美しい肌に補正します。 [強]、[標準*]、[OFF]から選べます。
アラーム設定	アラームの時刻を設定します。(52 ページ)		
自動電源ON/OFF設定	自動的に本体の電源を ON/OFF できるタイマー機能を設定します。以下から設定できます。(51 ページ)		
	シンプル設定	自動電源ON	有効にすると、自動的に電源を入れる時刻と曜日を設定できます。
		自動電源OFF	有効にすると、自動的に電源を切る時刻と曜日を設定できます。

*:工場出荷時の設定

次のページにつづく

項目	設定	内容	
自動電源ON/OFF設定	詳細設定	確定	操作を確定し、前画面に戻ります。
		キャンセル	操作を中止し、前画面に戻ります。
		すべて解除	選択した時間を全て削除します。
	設定方法	詳細設定*	曜日別に、1 時間単位で自由に自動電源 ON/OFF 時間を設定できます。
		シンプル設定	1 分単位で詳細な自動電源 ON/OFF 時間を設定できます。
時計設定	日付や時刻、カレンダー表示の開始曜日などを設定します。（19 ページ）		
本体設定	画像表示順	画像を表示する順番を設定します。設定した項目がスライドショー設定の再生順に反映されます。	
		画像番号順*	画像番号順に画像を表示します。
		撮影日時順	撮影日時順に画像を表示します。
	自動縦横判別	自動的に画像の縦横を判別する機能を ON* /OFF に設定します。	
	自動明るさ調整	周囲の照度にあわせて、自動的にバックライトの明るさを調整する機能を ON/OFF*に設定します。	
	バックライトの明るさ	液晶画面のバックライトの明るさを 1 ～ 10*のレベルで設定します。	
	操作音	操作確認音の ON* /OFF を設定します。	
	アルバム保存サイズ	アルバムサイズ*	画像を圧縮して内蔵メモリーに保存します。より多くの画像を保存できます。ただし、HDMI OUT 端子やコンピューターなどを使用して大型モニターに表示した場合、元の画像よりも、画質が劣化します。
		原画サイズ	画像を圧縮せずにそのまま内蔵メモリーに保存します。画質の劣化はありませんが、保存できる画像の枚数が少なくなります。
	HDMI 機器制御	HDMI 端子に接続したテレビのリモコンでの操作する機能を ON* /OFF に設定します。 [ON]を選んだ場合、本機の HDMI 端子にテレビを接続すると、自動的にビデオモードに切り換わり、接続したテレビの画面に画像が表示され、テレビのリモコンで操作できるようになります。	

*：工場出荷時の設定

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定</th><th colspan="2">内容</th></tr>
<tr><td>本体設定</td><td>Sony ロゴ点灯</td><td colspan="2">本機の Sony ロゴの点灯を ON＊/OFF で設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">本体情報表示</td><td>バージョン</td><td colspan="2">本機のファームウェアのバージョンが表示されます。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">内蔵メモリー</td><td>総容量</td><td>初期状態において内蔵メモリーで利用可能な最大容量が表示されます。</td></tr>
<tr><td>残容量</td><td>現在使用可能な内蔵メモリーの空き容量が表示されます。</td></tr>
<tr><td>Bluetooth アドレス</td><td colspan="2">Bluetooth アダプターが接続されているときに表示します。</td></tr>
<tr><td>言語設定</td><td colspan="3">液晶画面に表示される言語を設定します。
日本語＊／英語／フランス語／スペイン語／ドイツ語／イタリア語／ロシア語／韓国語／中国語（簡体字）／中国語（繁体字）／オランダ語／ポルトガル語／アラビア語／ペルシア語／ハンガリー語／ポーランド語／チェコ語／タイ語／ギリシャ語／トルコ語／マレー語／スウェーデン語／ノルウェー語／デンマーク語／フィンランド語
ご注意
工場出荷時の言語設定は、お買い上げの地域により異なることがあります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">工場出荷状態に戻す</td><td>内蔵メモリーの初期化</td><td colspan="2">内蔵メモリーを初期化します。
ご注意
• 初期化を実行すると、アルバムに追加された画像ファイルはすべて消去されますので、ご注意ください。
• コンピューターなど他の機器を使って初期化しないでください。</td></tr>
<tr><td>設定の初期化</td><td colspan="2">全ての設定値を工場出荷時の設定に戻します。
ただし、時計設定の日時と時刻の設定は保持されます。</td></tr>
</table>

＊：工場出荷時の設定

ハイビジョンテレビに接続する

ハイビジョンテレビと接続する

本機はHDMI出力が可能です。HDMI入力があるテレビに接続すると、テレビでより高精細な画像を表示することができます。

「BRAVIA プレミアムフォト」について
本機は、「BRAVIA プレミアムフォト」に対応しています。「BRAVIA プレミアムフォト」とは、写真らしい高精細で微妙な質感や色あいの表現を可能にする機能です。「BRAVIA プレミアムフォト」に対応したソニー製テレビと本機を、HDMIケーブル（別売）で接続すると、写真を今までなかった感動のFull HD画質で楽しめます。

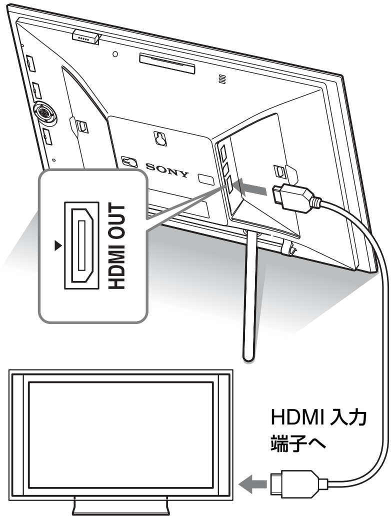
ご注意
元の画像によっては、高精細表示されない場合があります。

1 AC アダプターを本機につなぎ、AC アダプターをコンセントに差込む。（17 ページ）

2 市販の HDMI ケーブルを用意する。

ご注意
- HDMI ケーブルは 3m 未満のものをお使いください。
- HDMI ケーブルは、HDMI ロゴを取得したものをお使いください。
- 変換ケーブル、変換コネクターを用いたHDMI以外のテレビ入力への接続は保証しておりません。

3 本機の HDMI OUT 端子 (AType コネクター）と、テレビの HDMI 入力端子を接続する。



4 本機の電源を入れる。（18 ページ）

5 テレビの入力を切り換える。

本機を HDMI 機器制御対応のテレビに接続し、本機の電源を入れると、テレビがスタンバイの場合は自動的に電源が入ります。また、テレビの入力切換が自動的に切り換わり、画像とBGM が出力されます。

ご注意
- すべてのテレビとの動作を保証するものではありません。
- テレビに接続中は、本機の液晶画面の表示は消えます。
- テレビの設定で［HDMI機器制御］がOFFになっている場合は切り換わりません。設定方法は、テレビによって異なります。テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。

- HDMI 機器制御に対応していないテレビをお使いの場合、または、切り換わらない場合、手動でテレビの入力を切り換えて表示してください。
- BGM 再生はスライドショー表示中のみとなります。
- BGM を中止したい時は、(設定)タブから[スライドショー設定]を選び、[BGM]の[OFF]を選びます。
- 入力切換の操作方法は、テレビによって異なります。テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。
- アルバムに追加、画像の書き出し、画像の削除の実行中は HDMI ケーブルを抜き差ししないでください。途中で HDMI ケーブルを抜き差しした場合、処理はキャンセルされます。

テレビのリモコンを使って操作する

HDMI 機器制御に対応したテレビの場合、テレビ付属のリモコンで本機の操作をすることが可能です。

ご注意

- すべてのテレビとの動作を保証するものではありません。
- ソニー製テレビの場合は、リモコンに[リンクメニュー]ボタンがついているテレビ以外では、リモコンで操作はできません。
- 本機を操作するには、リモコンの ←→↑↓ [決定] [戻る] ボタンが HDMI 機器制御に対応している必要があります。
- テレビの設定で[HDMI 機器制御]が OFF になっている場合はリモコンでの操作はできません。設定方法は、テレビによって異なります。テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 本機の[HDMI 機器制御]が OFF になっている場合はリモコンでの操作はできません。

テレビリモコンでのフォトフレームの基本操作

- 一覧表示や、メニューを表示中などカーソルが表示されている場合は、←/→/↑/↓ ボタンを押すと、カーソルが移動します。
- 一枚表示中などカーソルが表示されていない場合は、↑ ボタンを押します。画面に、本体の操作部分の形をした操作パネルが表示されますので、押したいボタンを ←/→/↑/↓ ボタンで選択して、⊕ ボタンを押します。



- 操作パネルを消すには、画面の操作パネル右上の × を選択するか、リモコンまたは、本体の戻るボタンを押します。

ご注意

リモコン操作では、下記の操作はできません。
- 拡大／縮小
- トリミング保存
- アルバムに追加／書き出し／マーク操作／削除

次のページにつづく

HDMI 機器制御について

本機では、［HDMI 機器制御］が［ON］の状態で、以下の機能を使用することができます。

- テレビと連動して本機の電源を切ることができます。
- テレビに接続後、本機の電源を入れるか、電源が入った状態の本機をテレビに接続することで、テレビの入力をフォトフレームに切り換えることができます。この際、テレビがスタンバイ状態の場合には連動して電源が入ります。
- テレビのリモコンを使用して本機の操作を行うことができます。
- 本機とテレビが接続された状態で、テレビの表示言語を切り換えると、連動して本機の表示言語を切り換えます。

ご注意

ご使用のテレビがそれぞれの機能をサポートしている必要があります。

「ブラビアリンク」について

「ブラビアリンク」とは HDMI のコントロール信号を使用して、「ブラビア」のリモコンで連動操作ができるソニー商品の機能名称です。
本機と「ブラビアリンク（リンクメニュー対応）」の「ブラビア」を HDMI ケーブルで接続すると、「ブラビア」のリモコンで連動操作ができます。

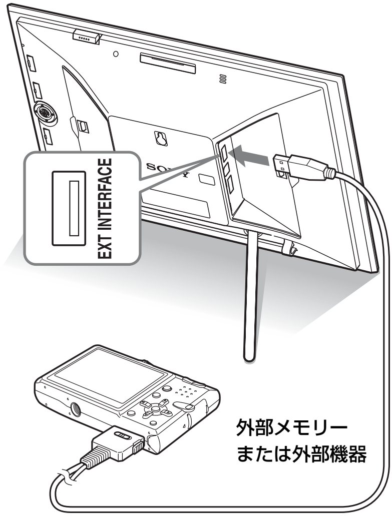
外部機器を接続して操作する

本機とマスストレージ対応のデジタルカメラ、USB メモリー、フォトストレージを接続し、メモリーカード同様いろいろな機能をお楽しみいただけます。

ご注意

- すべての外部機器との接続を保証するものではありません。
- 内蔵メモリーの再生中、EXT INTERFACE 端子に外部機器を接続すると、表示するデバイスは外部機器に切り換わります。

1. **AC アダプターを本機につなぎ、コンセントに差し込む。（17 ページ）**
2. **デジタルカメラや外部機器の設定をマスストレージ接続モードにする。**
   接続前に必要な設定や操作方法は、デジタルカメラや外部機器によって異なりますのでデジタルカメラや外部機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
   （Cyber-shot をご使用の場合は、USB 接続を［標準］または、［MassStorage］に設定します。）
3. **本機の電源を入れる。（18 ページ）**
4. **デジタルカメラや外部機器を本機の EXT INTERFACE 端子に接続する。**
   デジタルカメラや外部機器に付属されている USB ケーブルを使って、本機に接続してください。



5 **再生デバイス選択で外部機器を選ぶ。（40 ページ）**

デバイス内の画像が表示されます。
スライドショーを行いたい場合は 29 ページ、アルバムに追加を行いたい場合は 32 ページ、クリエイティブエディットを行いたい場合は 43 ページをご覧ください。

ご注意

- 市販の USB ケーブルをお使いになる場合は、長さ 3m 未満の A-TYPE の USB ケーブルをお使いください。
- 外部機器のアクセスランプが点滅中に、USB ケーブルを抜いたり、本機および外部機器の電源を切らないでください。外部機器内のデータが破損する場合があります。データの破損、消失については責任を負いかねます。
- USBハブや、USBハブを内蔵したUSB機器は正常に動作しない場合があります。
- 指紋認証やパスワードなどによって暗号化、圧縮された USB 機器のデータは、本機ではご使用になれません。

Bluetooth で画像を転送する

本機の EXT INTERFACE 端子に、Bluetooth アダプター（別売）を接続し、Bluetooth 対応の携帯電話などの機器から画像を転送することができます。転送された画像は内蔵メモリーに保存されます。

ご注意

本機から他の Bluetooth 対応製品へのファイル送信はできません。

Bluetooth 通信を行うための条件（対応プロファイル）

DPF-X800/X1000 は以下のプロファイルに対応しています。

- BIP（Basic Imaging Profile）Image Push Responder
- OPP（Object Push Profile）Object Push Server

ご使用の Bluetooth 機器の対応プロファイルについては、ご使用の機器の取り扱い説明書をご覧ください。

プロファイルとは？

Bluetooth 通信を行うための規格です。
使用目的やお使いになる製品の特性によって、いくつかのプロファイルがあります。
Bluetooth 通信を行うためには、通信する機器が共通のプロファイルに対応している必要があります。

表示可能なフォーマット

76 ページをご覧ください。

最大再生画素数

76 ページをご覧ください。

1 AC アダプターを本機につなぎ、AC アダプターをコンセントへ差し込む。（17 ページ）

2 本機の電源を入れる。（18 ページ）

3 Bluetooth アダプター（別売）を本機の EXT INTERFACE 端子に接続する。

画面上部にガイドが表示される時に、（Bluetooth）マークが表示されます。

ご注意

本機のカードスロットや
EXT INTERFACE 端子に、メモリーカード、カメラなどの外部機器や USB ケーブルなど、Bluetooth アダプター以外の機器を接続しているときは、取り外してから Bluetooth アダプターを差し込んでください。

4 本機のBluetoothアドレスを確認する。

［本体情報表示］から表示できます。



ちょっと一言

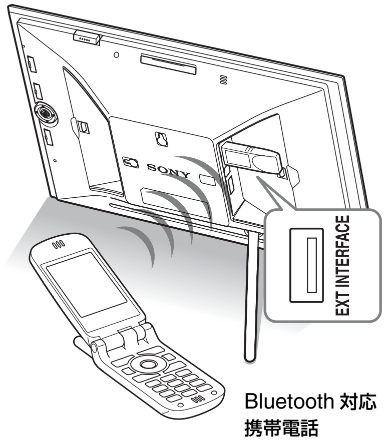
Bluetooth アダプターを挿入している時のみアドレスを表示します。

5 携帯電話などのBluetooth対応機器から操作して、本機に画像を転送する。

内蔵メモリーに保存されます。

ご注意

メモリーカードには保存できません。



Bluetooth 対応
携帯電話

Bluetooth 対応機器からフォトフレームを選択する場合は、「Sony DPF-X800 ##」または「Sony DPF-X1000 ##」を選択してください。
「##」には、本体情報表示画面で表示されたアドレスの下 2 ケタの英数字が表示されます。

パスキー＊を求められたら

「0000」を入力してください。本機でパスキーを変更することはできません。

＊ パスキーは、パスコードや PIN コードと呼ばれることもあります。

ご注意

- すべての Bluetooth 機器について無線通信などの動作を保証するものではありません。
- お買い上げの国や地域以外では、DPPA-BT1 を使用しないでください。国や地域によっては電波制限があるため、本製品を使用した場合罰せられることがあります。
- 障害物（人体、金属、壁など）や電波状態によって、通信有効範囲は変動します。
- Bluetooth 通信は以下の状況において、通信感度に影響を及ぼすことがあります。
  – 本機と携帯電話などの Bluetooth 機器との間に、人体や金属、壁などの障害物がある場合
  – 無線 LAN が構築されている場所や、電子レンジを使用中の周辺、その他電磁波が発生している場所など
- 本機とすべての Bluetooth 機器との無線通信についての保証はいたしかねます。
- Bluetooth を使用した通信時に情報の漏洩が発生しましても、弊社としては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機の使用目的に反した改造やご使用によって生じた損害や故障につきましては補償いたしかねます。

警告

- Bluetooth 機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本機および携帯電話の電源を切ってください。
  – 病院内／電車内／航空機内／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
  – 自動ドアや火災報知機などの自動制御装置の近く
  – 医療機器の近く
- 電波が、心臓ペースメーカーに影響を与えるおそれがあります。心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以上離して使用してください。

コンピューターに接続する

本機とコンピューターをつなぎ、コンピューターから本機の内蔵メモリーの画像を閲覧、コピーしたり、コンピューターの画像を本機にコピーすることができます。

必要なシステム構成

本機と接続してお使いになるには、以下の推奨動作環境を満たしたコンピューターが必要です。

■ Windows

推奨 OS:	Microsoft Windows Vista SP1/ Windows XP SP3 / Windows 2000 Professional SP4
ポート	USB ポート

■ Macintosh

推奨 OS:	Mac OS X（10.4 以降）
ポート	USB ポート

ご注意

- 1 台のコンピューターに複数の USB 接続をしたり、またはハブを使用した場合は、不具合が発生することがあります。
- 同時に接続された他の USB 機器から本機を操作することはできません。
- データ通信中は USB ケーブルを抜き差ししないでください。
- 推奨環境を満たす、すべてのコンピューターについて動作を保証するものではありません。
- USB 接続については、コンピューターおよび、ソニー製デジタルフォトプリンターとの接続で動作確認を行っています。その他の機器に接続した場合、内蔵メモリーを参照できない場合があります。

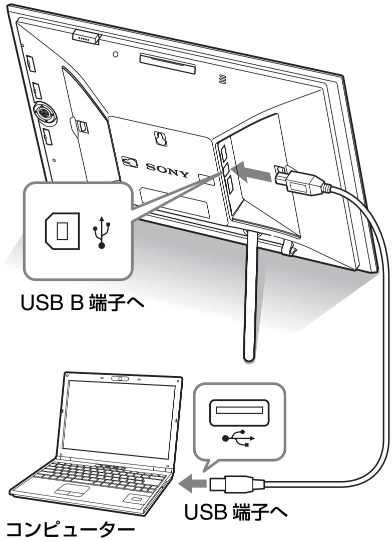
コンピューターと接続して画像をやりとりする

ご注意

Microsoft Windows Vista での接続例です。お使いの OS により画面表示、操作方法は異なる場合があります。

1 **AC アダプターを本機につなぎ、AC アダプターをコンセントに差込む。**（17 ページ）

2 **コンピューターと本機を USB ケーブルで接続する。**



ご注意

USB ケーブルは、B-TYPE をお使いください。

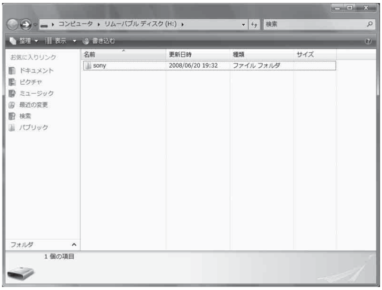
3 **本機の電源を入れる。**（18 ページ）

4　コンピューターの画面に［自動再生］画面が表示されたら、［フォルダーを開いてファイルを表示］をクリックする。

［自動再生］画面が表示されない場合は、「コンピュータ（マイコンピュータ)」からリムーバブルディスクを選び、開いてください。

5　カーソルをウィンドウの中に移動して右クリックし、［新規作成］－［フォルダ］をクリックする。

作成したフォルダに名前をつけます。ここでは仮に「sony」としています。



6　作成した「sony」フォルダーを開く。

7　コピーしたい画像ファイルが保存されているフォルダーを開き、ドラッグ・アンド・ドロップで「sony」フォルダーにファイルをコピーする。

ご注意

- コンピューターから画像を保存するときは、コンピューター上で内蔵メモリーにフォルダーを作って、そのフォルダーに保存してください。フォルダーを作成せずに保存できる画像ファイル数は、最大512枚までです。さらに、ファイル名の長さや文字の種類によって、保存できる枚数が減少する場合があります。
- コンピューター上で画像ファイルを編集または保存すると、撮影日時の情報が変更されたり失われる場合があり、インデックス表示などが撮影日時の順番で表示されないことがあります。
- コンピューター内の画像ファイルを、本機の内蔵メモリーに保存する場合、画像ファイルは圧縮されずに保存されます。そのため、本機の内蔵メモリーに保存できる画像の枚数が少なくなる場合があります。
- コンピューター上で作製、加工した画像ファイルは、本機では表示できない場合があります。また、コンピューター上で「読み取り専用」属性に設定されている画像ファイルは、本機では削除できません。保存する前に属性を変更してください。

コンピューターとの接続を切断する

以下の手順でコンピューターとの接続を切断してからUSBケーブルを抜いたり、本機の電源を切ってください。

1　タスクトレイの（切断）をダブルクリックする。

2　（USB大容量記憶装置デバイス）→［停止］をクリックする。

3　取りはずすドライブを確認して、［OK］をクリックする。

エラーメッセージが表示されたら

本機の液晶画面に次のようなエラーメッセージが表示されることがあります。以下に従って対処してください。

エラーメッセージ	意味／処理
メモリースティック／コンパクトフラッシュカード／ SD メモリーカード／ xD-Picture Card ／外部機器がありません。	• メモリーカードがそれぞれのスロットに入っていません。または外部機器が EXT INTERFACE 端子に接続されていません。メモリーカードをそれぞれのスロットに入れてください。または、外部機器を接続してください。（→20、62 ページ）
非対応メモリースティック／コンパクトフラッシュカード／ SD メモリーカード／ xD-Picture Card ／外部機器が挿入されています。	• 非対応のメモリーカードが挿入されています。または、EXT INTERFACE 端子に非対応の外部機器が接続されました。本機に対応しているメモリーカードまたは外部機器をお使いください。
画像がありません。	• メモリーカードまたは外部機器内に本機で表示できる画像ファイルがありません。本機で表示できる画像ファイルの入ったメモリーカードまたは外部機器をお使いください。
プロテクトファイルは削除できません。	• プロテクトファイルを削除するには、お使いのデジタルカメラやコンピューターでプロテクト設定を解除してください。
プロテクトされています。プロテクトを解除して、もう 1 度実行してください。	• メモリーカードが書き込み禁止になっています。誤消去防止スイッチを解除してください。（→74 ページ）
メモリースティック／コンパクトフラッシュカード／ SD メモリーカード／ xD-Picture Card ／内蔵メモリー／外部機器が容量不足です。	• メモリーカードや内蔵メモリー、外部機器の容量が一杯のため、追加保存できません。画像を削除するか、容量のあるメモリーカードまたは外部機器をお使いください。
メモリースティック／コンパクトフラッシュカード／ SD メモリーカード／ xD-Picture Card ／内蔵メモリー／外部機器にエラーがあります。	• 何らかのエラーが発生しています。何度もこのエラーが表示される場合は、本機以外の機器でもメモリーカードまたは外部機器の状態をご確認ください。 *外部機器の場合 外部機器が書込み禁止になっている可能性があります。お使いの機器の書込み禁止設定を解除してください。デジタルカメラの内蔵メモリーは、書込み禁止の場合があります。 *内蔵メモリーの場合 内蔵メモリーの初期化を行ってください。 **ご注意** 初期化を実行すると、アルバムに追加された画像ファイルはすべて消去されますので、ご注意ください。
メモリースティック／コンパクトフラッシュカード／ SD メモリーカード／ xD-Picture Card ／内蔵メモリー／外部機器への書き込みエラーです。	

エラーメッセージ	意味／処理
読み出し専用のメモリースティックです。	• 読み出し専用の“メモリースティック”が挿入されています。書き出しをおこなうには、書き込みのできる“メモリースティック”を挿入してください。
メモリースティックは保護されています。	• 保護されている“メモリースティック”が挿入されています。画像の編集、保存を行う場合は、お手持ちの機器で保護を解除してください。
サポートしていないフォーマットです。	• メモリーカードの場合は、ご使用のデジタルカメラなどで初期化してからご使用ください。 • 内蔵メモリーの場合は、本機で初期化してください。 **ご注意** 初期化すると中のファイルは全て削除されます。
この画像を開くことができません。	• 本機でサポートしていないフォーマットの画像ファイルは、本機では表示したり開くことができません。
USB ハブをこれ以上接続しないでください。	• 本機に直接接続するか、USB ハブを内蔵していない機器をお使いください。
非対応の USB 機器が接続されました。接続した機器の USB 設定を確認してください。	• マスストレージに非対応の外部機器が接続されています。または外部機器の USB 設定がマスストレージに設定されていません。マスストレージ対応の外部機器をお使いになるか、USB 設定を確認して設定をマスストレージに変更してください。

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう１度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にお問い合わせください。

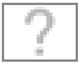
電源

症状	チェック項目	対処方法
電源が入らない。	• 電源プラグは正しく差し込んでありますか？	→ 正しく接続してください。

画像を表示する

「電源は入っているが画像が表示されない。」または、「操作画面の設定ができない。」こんな時は以下のチェック項目を確認してください。

症状	チェック項目	対処方法
画面に画像が表示されない。	• メモリーカードや外部機器は正しく接続されていますか？	→ 正しく接続してください。（➡20、62 ページ）
	• メモリーカードにはデジタルカメラなどで保存した画像が入っていますか？ • また、外部機器には画像が保存されていますか？	→ 画像の入っているメモリーカードまたは外部機器を接続してください。 → 表示可能なファイルフォーマットを確認してください。（➡76 ページ）
	• ファイルフォーマットはDCFに準拠していますか？	→ DCF に準拠していないファイルはコンピューターで表示できても、本機では表示できない場合があります。
撮影日時順に表示されない。	• コンピューターから保存した画像ではありませんか？ • コンピューターで編集した画像ではありませんか？	→ コンピューター上で編集または保存すると、ファイルの撮影日時の情報が変更されたり、失われたりする可能性があります。
一部の画像が表示されない。	• インデックス表示で画像が表示されていますか？	→ インデックス表示で画像が表示されているのに一枚表示できない場合は、サムネイルと呼ばれる表示用データは問題ありませんが、1 枚表示させるための画像データが壊れている可能性があります。 → DCF に準拠していないファイルはコンピューターで表示できても、本機では表示できない場合があります。

症状	チェック項目	対処方法
一部の画像が表示されない。	• インデックス表示で、下のマークが表示されていますか？  • コンピューターのアプリケーションで作成した画像ではありませんか？	→ 左のマークが表示されている場合は、コンピューターで作成した JPEG ファイルなど、本機が対応していない画像ファイルか、対応している画像ファイルでも、サムネイルと呼ばれている表示用の画像データ部分がない画像ファイルです。このマークを選択し、ボタンを押して一画面表示にしても、左のマークが表示される場合は本機で対応できない画像ファイルのため、表示はできません。
	• インデックス表示で、下のマークが表示されていますか？ 	→ 左のマークが表示されている場合は、本機が対応している画像ファイルですが、サムネイルと呼ばれている表示用の画像データが開けないか、または本画像が開けません。このマークを選択し、ボタンを押して一画面表示にしても、左のマークが表示される場合は表示はできません。
	• メモリーカードまたは外部機器内の画像枚数が 9,999 枚を超えていませんか？	→ 本機で再生、保存、削除など、扱える画像ファイル数は最大で 9,999 枚です。
	• コンピューターなどでファイル名を変更しましたか？	→ コンピューターでファイル名をつけたり変更した場合、ファイル名に半角英数字以外の文字が含まれていると、本機で画像が表示できない場合があります。
	• メモリーカードまたは外部機器内に 8 階層を超えるフォルダーがありませんか？	→ 8 階層を超えるフォルダー内にある画像データは、本機では表示できません。
ファイル名が正しく表示されない。	• コンピューターなどでファイル名を変更しましたか？	→ コンピューターでファイル名をつけたり変更した場合、ファイル名に半角英数字以外の文字が含まれていると、本機でファイル名が正しく表示されない場合があります。また、コンピューターなどで作成したファイルは、ファイル名の最初から最大 10 文字が表示されます。

次のページにつづく

画像を保存、削除する

症状	チェック項目	対処方法
保存できない。	• メモリーカードが書き込み禁止になっていませんか？	→ 書き込み禁止設定を解除して、再度保存してください。
	• メモリーカードの誤消去防止スイッチが［LOCK］になっていませんか？	→ 誤消去防止スイッチを解除してください。
	• メモリーカードが一杯になっていませんか？	→ 不要な画像を削除してください。（→36 ページ）または、充分なメモリー残量のあるメモリーカードに交換してください。
	• 内蔵メモリーが一杯になっていませんか？	→ 不要な画像を削除してください。（→36 ページ）
	• フォルダーを作成せずにコンピューターから画像を保存していませんか？	→ フォルダーを作成していない場合、保存できる画像ファイル数は最大 512 枚までです。さらに、ファイル名の長さや文字の種類によって、保存できる枚数が減少することがあります。コンピューターから画像を保存するときは、コンピューター上で内蔵メモリーにフォルダーを作成して、そのフォルダーに保存してください。
削除できない。	• メモリーカードが書き込み禁止になっていませんか？	→ お手持ちの機器で書き込み禁止設定を解除して、再度保存してください。
	• メモリーカードの誤消去防止スイッチが［LOCK］になっていませんか？	→ 誤消去防止スイッチを解除してください。
	• " メモリースティック -ROM" ですか？	→ " メモリースティック -ROM" については、画像の削除と初期化はできません。
	• プロテクトされた画像ではありませんか？	→ 一枚表示画面から撮影情報表示を確認してください。（→28 ページ） [key mark] マークのある画像は読み取り専用画像です。本機からは削除できません。
誤って消してしまった。	ー	→ 1 度削除したファイルは元に戻せません。

デジタルカメラなどの外部機器との接続

症状	チェック項目	対処方法
カメラを接続しても何も示されない。	• ケーブルが正しく接続されていますか？	→ ケーブルを正しく接続してください。
	• 本機の電源は入っていますか？	→ 本機とカメラ、両方の電源を入れてください。
USB ケーブルを抜き差ししても何も起こらない。	ー	→ オーバーカレント（過電流）エラーが発生した可能性があります。 復帰するには、本機の電源をもう 1 度入れなおしてください。
テレビ画面、液晶画面のどちらにも表示されない	• テレビの入力切換が外部入力になっている	→ テレビの入力切換がフォトフレームになっていなくても、HDMI ケーブルが接続されている場合、テレビ画面にも液晶画面にも表示されない場合があります。 → テレビの入力をフォトフレームに切り換えるか、HDMI ケーブルを抜いて液晶画面表示に切り換えてください。

本体

症状	チェック項目	対処方法
何も反応しない。	ー	→ 背面のリセットスイッチを細い物で押してください。(→11 ページ)

リモコン

症状	チェック項目	対処方法
何も反応しない	• 電池は入っていますか？	→ 電池を交換してください。(→14 ページ) → 電池が入っていません。(→14 ページ) → 電池が正しく入っていません。(→14 ページ)
	ー	→ リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて操作してください。(→14 ページ) → 本体リモコン受光部の近くには物を置かないでください。
	• 保護シートが入っていませんか？	→ 保護シートを引き抜いてください。(→14 ページ)

使用上のご注意

設置上のご注意

- 水平な場所に置いてください。
- ぶつけたり、落としたりしないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
  - 不安定なところ
  - ほこりの多いところ
  - 極端に寒いところや暑いところ
  - 振動の多いところ
  - 湿気の多いところ
  - 直射日光の当たるところ

AC アダプターについてのご注意

- 電源コンセントの形状は各国、各地によって異なりますのでお出かけ前にご確認ください。本機を海外旅行者用の電子式変圧器（トラベルコンバーター）に接続しないでください。発熱や故障の原因になります。
- 付属以外の AC アダプターを使用しないでください。

結露について

結露とは、寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部に水滴がつくことです。
この状態で本機を使用すると、正常に動かず、故障の原因となります。結露の可能性のあるときは、電源を切り、しばらくそのまま放置しておいてください。

引っ越しなどで輸送する場合は

輸送する場合は、メモリーカード、外部機器、AC アダプター、ケーブル類を本体から取りはずし、本機が梱包されていた梱包材および梱包箱に入れてください。これらがない場合は、輸送中の衝撃に耐えるように梱包してください。

お手入れ

本機の汚れがひどいときは、水または水で薄めた中性洗剤溶液で湿らせた布をかたくしぼってから、汚れをふきとってください。シンナーやベンジン、アルコールなどは、表面の仕上げをいためることがありますので、使用しないでください。

複製の禁止事項

他人の著作権の目的となっている絵画、写真、書籍などは個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

本機を廃棄するときのご注意

本機で [内蔵メモリーの初期化] を行っても、内蔵メモリー内のデータは完全に消去されないことがあります。
本機を廃棄するときは、本機を物理的に破壊することをおすすめします。

メモリーカードについて

“ メモリースティック ”

本機でお使いになれる “ メモリースティック ”

本機では以下の“メモリースティック”をご使用になれます。*1

“ メモリースティック ” の種類	表示	削除・保存
“ メモリースティック ”*2（マジックゲート非対応）	○	○
“ メモリースティック ”*2（マジックゲート対応）	○ *5	○ *5
“マジックゲートメモリースティック ”*2	○ *5	○ *5
“ メモリースティック PRO” *2	○ *5	○ *5
“ メモリースティック PRO-HG” *2	○ *5*6	○ *5*6
“ メモリースティック マイクロ ”*3（“M2”*4）	○ *5	○ *5

*1 本機は FAT32 に対応しています。16GB までのソニー製 “ メモリースティック ” で動作確認を行っています。ただし、すべての “ メモリースティック ” メディアの動作を保証するものではありません。

*2 本機には、スタンダード／デュオ サイズ対応スロットが搭載されています。“ メモリースティック デュオ ” アダプターなしで、標準サイズの “ メモリースティック ”、小型の “ メモリースティック デュオ ” のどちらでもご使用いただけます。

*3 “メモリースティック マイクロ”を本機でお使いの場合は、必ず“メモリースティック マイクロ ” を M2 アダプターに入れてからお使いください。

*4 “M2”は、“メモリースティック マイクロ”の略称です。本文では今後略称 “M2” を用いて記述します。

*5 著作権保護技術（“ マジックゲート ”）が必要なデータの読み込み、記録はできません。“ マジックゲート ” とは、ソニーが開発した、暗号化技術を使って著作権を保護する技術の総称です。

*6 本機は、8 ビットパラレルデータ転送には対応しておりません。

使用上のご注意

- 使用可能な“メモリースティック”についての最新情報は、ホームページ上の「“ メモリースティック ” 対応表」をご確認ください。（裏表紙）
- 複数の“メモリースティック”を同時に挿入しないでください。機器の破損の原因となる場合があります。
- “ メモリースティック マイクロ ” を本機でお使いの場合は、必ず “ メモリースティック マイクロ ” を M2 アダプターに入れてからお使いください。
- M2 アダプターに装着されていない状態で挿入されますと、“ メモリースティック マイクロ ” が取り出せなくなる可能性があります。
- デュオサイズの M2 アダプターに “ メモリースティック マイクロ ” を入れ、それをさらにメモリースティック デュオアダプターに入れて使用した場合、動作しない場合があります。
- “メモリースティック”を初期化するときは、ご使用になっているデジタルカメラで初期化してください。コンピューターで初期化した場合、画像が表示されないことがあります。

次のページにつづく

- 初期化するとプロテクトをかけてある画像ファイルもすべて削除されます。誤って大切なデータを削除することがないように、ご注意ください。
- 誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると保存、削除ができなくなります。
- ラベル貼り付け部には、専用ラベル以外は貼らないでください。また、ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部にはみ出さないように貼ってください。

SD メモリーカード

本機では下記をご使用になれます。
- SD メモリーカード [*1]
- miniSD カード、microSD カード（アダプターが必要です）[*2]
- SDHC メモリーカード [*3]
- MMC 規格メモリーカード [*4]

ただし、すべての SD メモリーカード、MMC 規格メモリーカードの動作を保証するものではありません。

[*1] 2GB までの SD メモリーカードで動作確認を行っています。
[*2] 市販のカードアダプタによっては、裏面中央部に端子が出ているものがあります。本機では、このようなタイプのアダプターは正しく動作しない場合があります。
[*3] 32GB までの SDHC メモリーカードで動作確認を行っています。
[*4] 2GB までの MMC 規格メモリーカードで動作確認を行っています。

使用上のご注意

- 著作権保護技術が必要なデータの読み込み、記録はできません。

xD-Picture Card

本機は、xD-Picture Card[*5] をご使用になれます。ただし、すべての xD-Picture Card の動作を保証するものではありません。

[*5] 2GB までの xD-Picture Card で動作確認を行っています。

コンパクトフラッシュカード

本機では下記をご使用になれます。
- CompactFlash Memory Card（Type I/Type II）または CF+Card（Type I/Type II）準拠のコンパクトフラッシュカード（[*6]）

また、市販のコンパクトフラッシュカードアダプター（[*7]）をお使いになることにより、スマートメディアをご使用になれます。

ただし、すべてのコンパクトフラッシュカードの動作を保証するものではありません。

[*6] コンパクトフラッシュカードは、電源仕様が 3.3V あるいは、3.3V/5V のものをお使いください。5V 専用、または 3V 専用のタイプは、お使いになれません。対応以外のメモリーカードを無理にお使いになると、本機の故障の原因となります。32GB までのコンパクトフラッシュカードで動作確認を行っています。
[*7] 市販のコンパクトフラッシュカードアダプターをお使いの場合は、取り付け方法、使用方法については、アダプターの取扱説明書をご覧ください。アダプターによっては、メモリーカードのライトプロテクトをすると正しく動作しない場合があります。

カード使用上のご注意

- ご使用の際は、正しい挿入方向をご確認のうえご使用ください。間違ったご使用は機器の破損の原因となります。
- メモリカードを挿入するとき、無理な力をくわえて挿入をすると、メモリーカードまたは本機を破損する恐れがあります。
- データの読み込み、書き込み中、アクセス中に、カードを抜かないでください。または電源を切らないでください。データが消えたり壊れたりすることがあります。
- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- コンピューターで加工した画像は、再生できないことがあります。
- 持ち運びや保管の際は、専用の収納ケースに入れてください。
- 端子部には手や金属で触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  – 使用条件範囲以外の場所（炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど）
  – 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所
  – 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所

主な仕様

■ 本体

液晶画面

液晶パネル：
DPF-X1000：10.2型、TFT駆動
DPF-X800：8.0型、TFT駆動
総ドット数：
DPF-X1000：1,843,200
（1024×3（RGB）×600）ドット
DPF-X800：1,152,000
（800×3（RGB）×480）ドット

表示アスペクト比

15:9

有効表示画面サイズ

DPF-X1000：10.0型
DPF-X800：7.6型

液晶バックライト寿命

DPF-X800/X1000：20,000時間
（バックライトの輝度が半減するまでの時間）

入出力端子

HDMI OUT端子（A TYPEコネクター、1080i（60Hz）/1080i（50Hz）/576p（50Hz）/480p（60Hz）対応、BRAVIAリンク対応）
USB端子（TypeB、Hi-Speed USB）
EXT INTERFACE端子（Type A、Hi-Speed USB）
“メモリースティック PRO”スロット
SD/MMC/xD-Picture Cardスロット
コンパクトフラッシュカードスロット

次のページにつづく

表示可能なファイルフォーマット

JPEG: DCF 2.0準拠、Exif 2.21準拠、JFIF *1

TIFF: Exif 2.21準拠

BMP: 1、4、8、16、24、32ビット Windows形式

RAW(簡易再生*2):
SRF、SR2、ARW(2.0まで)

画像の形式によっては、対応できないことがあります。

最大再生画素数

8,192×6,144ドット

ファイルシステム

FAT12/16/32、
セクタサイズ 2,048バイト以下

画像ファイル名

DCF形式、256文字8階層以下

最大画像ファイル数

メモリーカード1枚／
外部機器1台につき9,999枚

内蔵メモリー容量 *3

DPF-X800/X1000:2GB
(保存ファイル数:約4,000枚*4)

電源

DC IN端子入力、DC8.4V

消費電力

機種名	動作モード	AC アダプター含む
X1000	最大負荷時	14.6W
	通常モード*	10.1W
X800	最大負荷時	9.6W
	通常モード*	5.6W

* 通常モードの定義は"出荷時設定にて内蔵メモリー内に保存したデータをスライドショーしている状態でメモリーカードや外部機器を取り付けていない状態"です。

動作温度

5℃～35℃

外形寸法

(スタンドセット時)
DPF-X1000:
約305×207×168 mm
DPF-X800:
約253×168×140 mm
(幅／高さ／奥行き)

(壁掛け時)
DPF-X1000:約305×210×48 mm
DPF-X800:約253×171×48 mm
(幅／高さ／奥行き)

質量

DPF-X1000:約1,330g
DPF-X800:約950g
(ACアダプター含まず
スタンド、カードスロットカバー、コネクターカバーを含む)

同梱品

「同梱品を確認する」(10ページ)参照

■ AC アダプター AC-DPF200

定格入力

AC100V - 240V、50/60Hz
0.35A - 0.18A

消費電力

18W

定格出力

DC 8.4V、1.7 A

外形寸法

約48×29×81mm
(幅／高さ／奥行き)
(最大突起部のぞく)

質量

約140 g(本体のみ)

その他の仕様については、AC アダプターのラベルをご覧ください。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

*1 4:4:4、4:2:2、4:2:0 形式のベースライン JPEG

*2 RAWファイルサムネイルがそのまま表示されます。
*3 容量は、1GBを10億バイトで計算した場合の数値です。また、管理用ファイル、アプリケーションなどをふくむため、実際に使用できる容量は減少します。ご使用頂けるユーザー容量は、約1.84GBです。
*4 保存枚数は、200万画素相当の画像を保存した場合の目安です。被写体および撮影条件によって異なります。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお受け取りください。
- 所定事項に記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときは

お買い上げ店、またはソニーの相談窓口へご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理させていただきます。

次のページにつづく

部品の保有期間について

当社では、デジタルフォトフレームの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低 6 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、ソニーの相談窓口にご相談ください。ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 型名：DPF-X1000/DPF-X800
- 故障の状態：できるだけくわしく
- お買い上げ年月日
- コンピューターをご使用の場合はコンピューターの環境：
  – ご使用コンピューターの機種名
  – メモリー容量
  – ハードディスクなどの容量

⚠警告

火災　感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

➡ 2ページもあわせてお読みください。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理はお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。

分解禁止

内部に水や異物（金属物や燃えやすい物など）を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 製品と壁や棚の間にはさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーの相談窓口に交換をご依頼ください。

禁止

機器本体や付属品は、幼児の手の届かない場所におく

内部に手を入れると、挟まれてけがをしたり、温度の高い部分にさわってやけどをすることがあります。また、本体小物部品、電源の保護シート、“ メモリースティック ” などのメモリーカードや、デュオサイズの M2 アダプターなどの変換アダプターを飲み込む恐れがあります。幼児の手の届かない場所に置き、お子様が触らぬようご注意ください。

万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

禁止

付属の AC アダプター以外は使用しない

火災や感電の原因となることがあります。

禁止

⚠注意

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差したり、使用しないでください。感電の原因になることがあります。

ぬれ手禁止

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所では使わない

火災や感電の原因となります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。

禁止

コード類は正しく配置する

電源コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下などによりけがの原因となることがあります。充分注意して接続、配置してください。

指示

通電中の本機や AC アダプターに長時間触れない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

接触禁止

移動させるとき、長時間使用しないときは電源プラグを抜く

長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

本機やAC アダプターを布や布団などでおおった状態で使用しない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

禁止

本体内部の部品をさわらない

機構部品により、けがの原因となることがあります。
また、高温になった部品にさわると、火傷の原因となることがあります。
ケースが破損しても本体内部の部品には触れないでください。
高電圧部品により感電することがあります。

接触禁止

スタンドを持って本体を持ち上げない

スタンドがゆるんで落下し、故障や障害、又は怪我の原因になることがあります。
持ち運びの際は、落とさないよう本体をしっかりお持ちください。

指示

⚠注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

本体の上に乗らない、重いものを載せない、ぶら下がらない

落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

液晶画面に衝撃を与えない

液晶画面に強い衝撃を与えると割れて、怪我の原因となることがあります。

禁止

お手入れの際は、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

禁止

コネクターはきちんと接続する

- コネクターの内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート（短絡）して、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクターはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むと、ピンとピンがショートして、火災や故障の原因となることがあります。

禁止

電源コードや接続ケーブルを AC アダプターに巻き付けない

断線や故障の原因となることがあります。

禁止

雷が鳴り出したら、本機や電源プラグには触れない

本機や電源プラグなどに触れると感電の原因となります。

接触禁止

デバイスの取り付け、または取りはずすときは本体を持つ

メモリーカード、コネクターなどを本機に取り付けたり、取りはずすときは、本体に手を添えて行ってください。
本機が落ちると、けがの原因となることがあります。

指示

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠警告

電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない　ぬれ手禁止

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間が経ってから症状が現れることがあります。

必ず次の処理をする　指示

- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

電池は乳幼児の手の届かない所に置く

禁止

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。
万一、飲み込んだときはただちに医師に相談してください

電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水でぬらさない

禁止

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

⚠注意

指定以外の電池を使わない

禁止

電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。
指定の電池をお使いください。電池の品番を確かめ、お使いください。

＋と－の向きを正しく入れる

指示

＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。
機器の表示に合わせて、正しく入れてください。

使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

指示

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

リモコンの電池ホルダーを開けて使用しない

指示

リモコンの電池ホルダーを開けたまま使用すると、漏液、発熱、発火、破裂などの原因となることがあります。
指定の電池を使用し、電池ホルダーを閉めて使用してください。

索引

アルファベット順

五十音順

ト

ナ

ニ

ハ

ホ

マ

メ

リ

■ 困ったときは（サポートのご案内）

ホームページで調べる

デジタルフォトフレームの商品や最新サポート情報（製品に関するQ&A、OS対応情報など）はこちらのホームページから
http://www.sony.co.jp/DPF/

メモリースティック対応表

使用可能な"メモリースティック"を確認できます。
http://www.sony.co.jp/mstaiou/

電話で問い合わせる（おかけ間違いにご注意ください。）

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。　**http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口	
フリーダイヤル……………	0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥	0466-31-2511
修理相談窓口	
フリーダイヤル……………	0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥	0466-31-2531

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「403」＋「#」
を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通）0120-333-389 **受付時間** 月～金:9:00～20:00 土・日・祝日:9:00～17:00

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

■ カスタマー登録のご案内

カスタマー登録していただくと、安心・便利な各種サポートが受けられます。詳しくは、同封のチラシ「カスタマー登録のご案内」もしくはご登録WEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/dpp-regi/

ソニー株式会社　〒 108-0075 東京都港区港南 1-7-1

この説明書は VOC（揮発性有機化合物）
ゼロ植物油型インキを使用しています。

http://www.sony.co.jp/　Printed in China